

岩手県不動産市場動向に 関するアンケート調査結果

第27回調査（令和6年4月1日時点）

令和6年6月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

岩手県不動産市場動向に関する第27回アンケート調査の実施によせて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を契機に3協会の共同で始めました岩手県不動産市場動向に関するアンケート調査（第27回）結果の概要は以下のとおりです。

- ① 住宅地については、価格DIは、実感・予測とも県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
取引件数DIは、実感・予測ともに全地域でマイナス。
- ② 商業地については、価格DIは、県央部のみプラス、他地域はマイナス。予測では、県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
取引件数DIは、実感・予測ともに全ての地域でマイナス。
- ③ 中古住宅については、価格DIは、県央部のみプラス、内陸南部が横ばい。予測では、県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
取引件数DIは、全地域でマイナス。予測では、沿岸南部のみマイナス、内陸北部が横ばい。
- ④ 自然災害リスクによる不動産取引等への影響として、事前に災害リスクを調査する顧客が増えている、ハザードマップや建物の耐震性への関心が高まっている等の回答が寄せられた。

①、②及び③について、住宅地価格DI、商業地価格DI及び中古住宅価格DIは、県央部が3指数ともプラスを継続したほかは、住宅地価格の内陸南部のプラス、中古住宅価格の内陸南部の横ばいを除き、いずれもマイナスの結果となりました。また、6か月後の予測は、いずれも県央部及び内陸南部がプラス、他地域がマイナスとなっており、引き続き県域内での二極化の状況が現れていますが、前回はマイナスであった内陸南部が堅調な推移が予測されるエリアに加わった結果となりました。主な要因としてはキオクシア工場による影響が考えられます。住宅地取引件数DI、商業地取引件数DIをみると、引き続き実感・予測とも全地域でマイナスとなり、建築費の上昇により、需要者が土地の取得に慎重になっている状況が継続していることが伺われます。

④については、能登半島地震の影響もあり、需要者による災害リスクへの関心が更に高まっていることが推察されます。そのようななか、関心の領域は、立地のほか、建物の耐震性や地盤など広範になり、関心の度合いも増していることが伺われる回答が見受けられました。

3協会では、当アンケート調査が、復興の推進、市場関係者の意思決定に資するものとなるよう、改善を施しながら継続していきたいと考えておりますので、今後とも、当該調査活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、ご業務のなか貴重なお時間を割いて当調査にご理解とご協力を下さいました会員の皆様に、心より感謝いたします。

令和6年6月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
会長 多田 幸司

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
本部長 浅沼 儀洋

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
会長 佐藤 真

目 次

〔1〕 岩手県不動産市場動向調査の概要	1
1. アンケート調査の概要	1
2. 動向判断指数（DI）等について	3
3. アンケート調査票	4
〔2〕 アンケート集計結果	6
1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析	6
(1) 調査結果の概要	6
(2) 動向判断指数（DI）による分析	14
2. 設問ごとの回答内訳	20
問3 取引価格の6ヶ月前（R5.10.1時点）との比較	20
問4 6ヶ月後の取引価格の予測	22
問5 取引件数の6ヶ月前（R5.10.1時点）との比較	24
問6 6ヶ月後の取引件数の予測	26
問7 賃料の6ヶ月前（R5.10.1時点）との比較	28
問8 入居率の6ヶ月前（R5.10.1時点）との比較	29
お問い合わせ窓口等	30

〔1〕岩手県不動産市場動向調査の概要

1. アンケート調査の概要

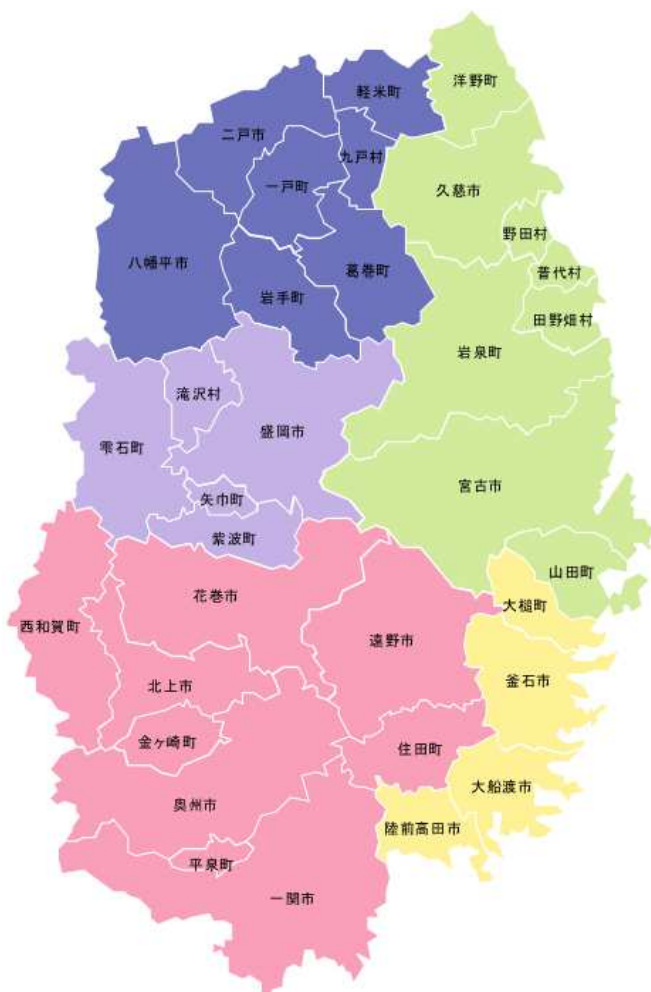
一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部及び一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会の三者共同で、令和5年10月1日（第26回調査時点）から令和6年4月1日（第27回調査時点）までの6ヶ月間の不動産市場の推移に関する実感と、この先6ヶ月間（R6.4.1～R6.10.1）の市場動向に関する予測、不動産市場の特徴的な動き、国・県・市町村等に対する要望・意見等についてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員である。

なお、本調査は3ページのとおり定性調査であり、具体の取引件数、成約価格等の定量調査ではない。

- (1) 実施時期 令和6年4月
- (2) 調査方法 一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員に対するアンケート調査
- (3) 発送数 726
- (4) 回収数 200 (回収率：27.5%)
- (5) 地域区分 沿岸北部、沿岸南部、県央部、内陸北部、内陸南部の5つに地域区分し集計した。

問1：回答者の主な営業地域

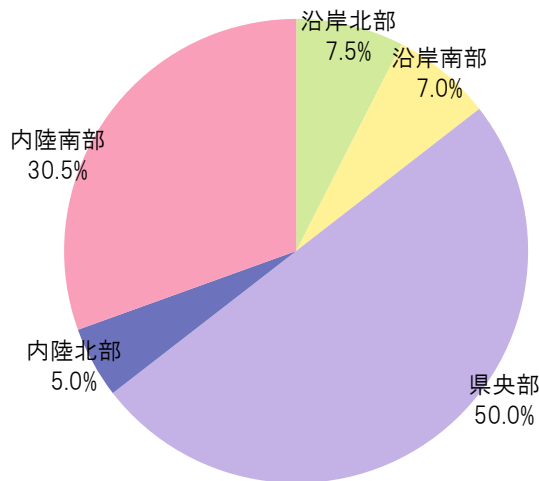
＜各市町村の地域区分＞



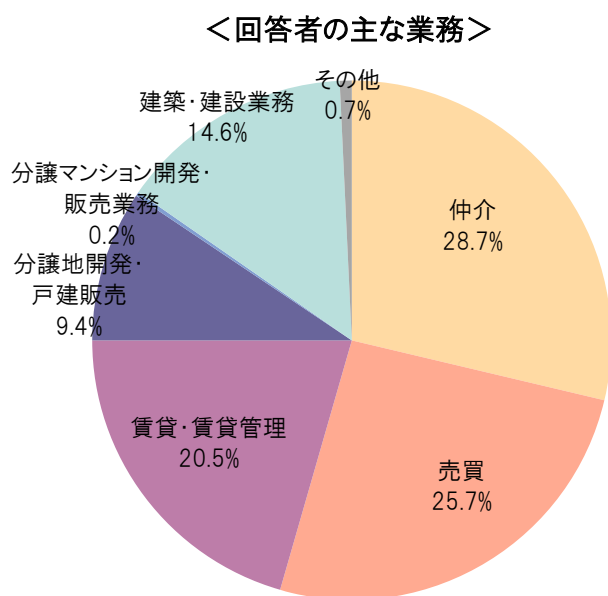
地域区分	地区名	発送数	回答数	回収率
	沿岸北部	54	15	27.8%
	沿岸南部	39	14	35.9%
	県央部	362	100	27.6%
	内陸北部	27	10	37.0%
	内陸南部	244	61	25.0%
	合計	726	200	27.5%

※回収率は、発送数を事務所所在地を基準とし、回答数は、主な営業地域により計算している。

＜回答者の主な営業地域＞



問2：回答者の主な業務

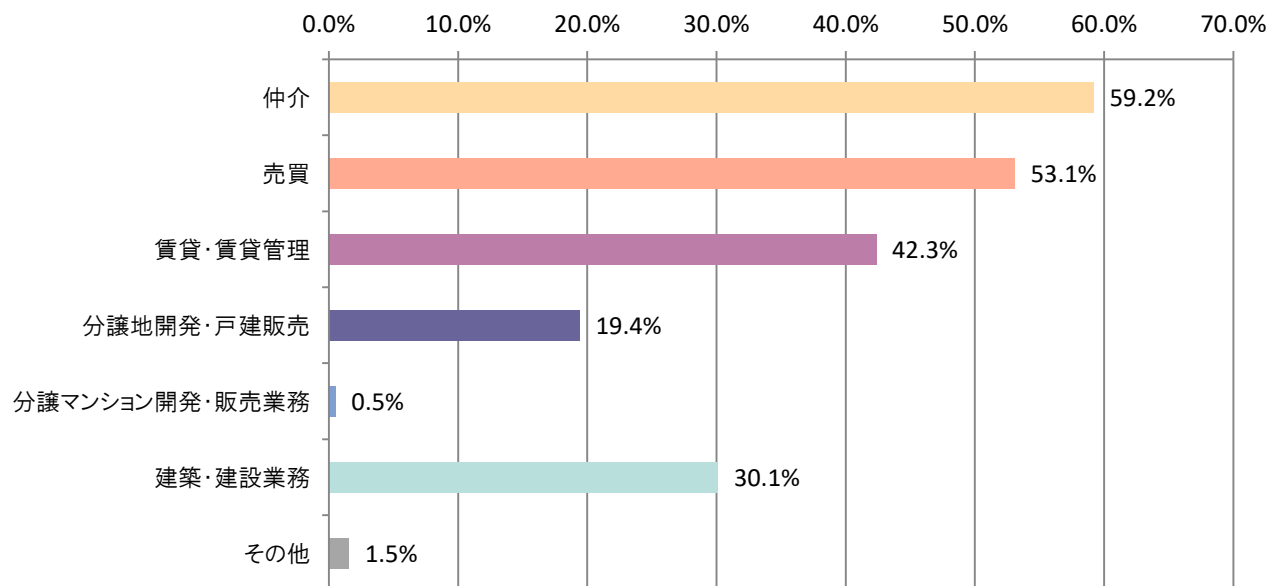


主な業務についての回答	
回答の有無	回答数
回答あり	196
回答なし	4
合計	200

主な業務	回答数
仲介	116
売買	104
賃貸・賃貸管理	83
分譲地開発・戸建販売	38
分譲マンション開発・販売業務	1
建築・建設業務	59
その他	3
合計	404

(複数回答あり)

回答者の主な業務の回答割合(主な業務の回答数÷回答ありの回答数)



仲介、売買を主な業務としている会員が多い。

2. 動向判断指数（DI）等について

（1）動向判断指数（DI）

① DIとは

DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、現状や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、DIとして指数化することにより調査項目の時系列把握や地域間比較を行ったりすることが容易となる。

2 DIの算出方法

本調査におけるDIの算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階または3段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

＜算出方法（5段階の例）＞

住宅地の地価	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D	E	F

$$DI = \{ (A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

＜算出方法（3段階の例）＞

建築資材の価格	上昇	横ばい	下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D

$$DI = (A - C) \div (A + B + C) \times 100$$

※DIが0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上のDIの幅は、プラスマイナス100の範囲となる。

（2）中央値

中央値とは、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央にくる値、データの数が偶数の時は、中央にある二つの値の平均値。

3. アンケート調査票

岩手県不動産市場動向アンケート(第27回)

■問1 県内における御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業地域についてお聞かせ下さい。

(最も取引件数の多い市町村をひとつ選んで○をつけるか、【】内に記載してください。例：奥州市江刺、一関市大東町等)

- 1.盛岡市 2.八幡平市 3.滝沢市 4.紫波町 5.矢巾町 6.雫石町 7.岩手町 8.葛巻町 9.花巻市 10.遠野市 11.北上市
 12.西和賀町 13.奥州市 14.金ヶ崎町 15.一関市 16.平泉町 17.久慈市 18.洋野町 19.野田村 20.普代村
 21.田野畑村 22.二戸市 23.一戸町 24.軽米町 25.九戸村 26.宮古市 27.釜石市 28.大槌町 29.岩泉町
 30.山田町 31.大船渡市 32.陸前高田市 33.住田町 【 】

■問2 御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業業務についてお聞かせ下さい。
 (○印をお願いします。複数回答可)

- 1.仲介業務 2.売買業務 3.賃貸・賃貸管理業務 4.分譲地開発・戸建販売業務
 5.分譲マンション開発・販売業務 6.建築・建設業務 7.その他()

以下、設問3～8は、調査・集計の性格上、可能な限り1～5の選択肢でのご回答をお願いします。地域によっては、取扱いがない、もしくは極めて少ない不動産(例：産業用地)の場合、「6.不明」の場合もあるかと思えます。

■問3 現在(R6.4.1時点)の主な営業地域の取引価格は、6カ月前(R5.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

※1 産業用地は、工場・倉庫・物流施設用地、資材置場用地等についてご回答をお願いします、以下同様です。

■問4 6カ月後(R6.10.1時点)の主な営業地域の取引価格は、現在(R6.4.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

■問5 現在(R6.4.1時点)の主な営業地域での取引件数は、6カ月前(R5.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問6 6カ月後(R6.10.1時点)の主な営業地域での取引件数は、現在(R6.4.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問7 現在(R6.4.1時点)の賃料は、6カ月前(R5.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

その他不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

■問8 現在(R6.4.1時点)の入居率は、6カ月前(R5.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の入居率： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

その他不動産の入居率： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

■問9 営業地域の不動産取引で特徴的なことがありましたら教えてください。

■問10 昨年には沿岸市町村で津波災害警戒区域が指定されるなど自然災害リスクへの意識が高まるなか、年明けには能登半島地震が発生しました。自然災害リスクによる不動産取引等への影響についてご教示ください。

(記載例：浸水想定区域に該当する不動産の取引が低調である。e t c.)

■その他 (先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等へのご意見・要望などを、ご自由にお書きください。)

以上で質問は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、令和6年4月30日(火)までに次のFAX番号宛に送信、又は同封の返信用封筒にて返信お願いいたします。

一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会 FAX番号 019-622-8485

差し支えなければ、下記についてご回答をお願いいたします。本アンケートの集計結果の送付を希望される場合は、貴社名・〒番号・ご住所は必ず記載をお願いいたします。(タナ版を押して頂ければ結構です。)

<p>所 属 協 会</p> <p>どちらかに○印をつけてください</p> <p>貴社名(営業所・支店名)</p> <p>〒 番 号 ・ ご 住 所</p> <p>電 話 番 号</p> <p>ご 担 当 者</p> <p>※ 調 査 結 果 の 送 付</p>	<p><input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会</p> <p><input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部</p> <p>希望する 希望しない ←○印をつけてください</p>
---	---

〔2〕アンケート集計結果

1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析

（1）調査結果の概要

■ 住宅地の価格

引き続き県央部と内陸南部がプラス。前々回にマイナスのトレンドに回帰した内陸北部は、マイナスを継続。沿岸北部及び沿岸南部は、依然として大幅なマイナス。予測は、県央部及び内陸南部がプラスの結果となった。

過去5回（R3/10、R4/4、R4/10、R5/4、R5/10）から今回調査（R6/4）に至る住宅地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲32.1⇒▲16.7⇒▲45.5⇒▲31.3⇒▲31.8⇒▲35.7、沿岸南部が▲29.4⇒▲21.9⇒▲28.6⇒▲35.7⇒▲40.0▲34.6と、両地域ともに大幅なマイナスを継続しており、住宅地需要は依然として低調に推移している。

その他の地域は、県央部が19.8⇒30.4⇒30.0⇒28.1⇒22.9⇒23.9と、引き続き堅調に推移している。また、前々回マイナスに回帰した内陸北部は▲8.3⇒▲21.4⇒10.0⇒▲13.6⇒▲5.0⇒▲5.0と、引き続きマイナスとなった。内陸南部は▲3.0⇒0.0⇒4.8⇒12.5⇒2.4⇒5.2と、プラスを継続した。

■ 商業地の価格

前々回マイナスのトレンドに回帰した内陸北部がマイナス推移を継続しており、実感・予測とも、県央部のみがプラスの結果となった。

過去5回から今回調査に至る商業地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲25.0⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲33.3⇒▲30.0⇒▲35.7、沿岸南部が▲26.7⇒▲16.7⇒▲28.6⇒▲28.6⇒▲35.7⇒▲34.6と、引き続きマイナスとなり、住宅地と同様に需要は低迷を続けている。

その他の地域は、県央部が▲1.6⇒5.1⇒9.8⇒14.2⇒11.5と⇒20.5、と上昇幅を拡大させつつプラスの推移を継続している。また、前々回マイナスに回帰した内陸北部は▲20.0⇒▲30.0⇒11.1⇒▲22.2⇒▲7.1⇒▲11.1、内陸南部が▲13.9⇒▲14.6⇒▲1.6⇒▲1.0⇒▲6.0⇒▲1.0と、両地域とも引き続きマイナスとなった。

■ 中古住宅の価格

県央部は実感・予測とも引き続きプラス。前回再びマイナスに転じた内陸南部が今回は横ばい、予測はプラスとなった。他地域は実感・予測ともマイナスを継続。

過去5回から今回調査に至る中古住宅価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲25.0⇒▲26.7⇒▲15.0⇒▲28.6⇒▲31.8⇒▲39.3、沿岸南部が▲34.4⇒▲28.6⇒▲19.2⇒▲38.5⇒▲33.3⇒▲46.2と、マイナス推移を継続し、上昇幅も拡大している。

その他の地域は、県央部が11.5⇒21.9⇒25.0⇒26.0⇒17.5⇒15.9と、引き続きプラスとなった。前々回マイナスに回帰した内陸北部は▲14.3⇒▲25.0⇒10.0⇒▲9.1⇒▲10.0⇒▲15.0と、マイナスの推移を継続し、前回マイナスに転じた内陸南部は▲4.1⇒▲3.4⇒▲1.5⇒3.8⇒▲8.3⇒0.0と、横ばいの結果となった。

■ 賃料

住居系不動産賃料は、県央部がプラスに転じ、内陸南部が横ばいからプラスとなり、沿岸部のみがマイナスの結果となった。

■ 問9：営業地域における不動産取引で特徴的な事項

① 沿岸北部

(久慈市)

- ・ 岩手県沿岸の生きる道を模索中。

(宮古市)

- ・ 管理会社がなく、不便。プロの管理会社がいたらいいのに。
- ・ 津波の来た地域は不人気。
- ・ 空き家の売れ行きが好調である。

(山田町)

- ・ 現在ほとんど取引実態がなく、不動産の価格も、目安はあっても人口減少が進んでいて先行き最悪である。

② 沿岸南部

(釜石市)

- ・ 震災復興造成宅地の空き地が多く 売却希望>購入希望

(大船渡市)

- ・ 商業・工業地域での目立った取引がない。
- ・ 住居系地域は値下げすると声がかかることもあり、潜在需要はありそうな気がするが、数は多くはない。

③ 県央部

(盛岡市)

- ・ 土地在庫の数の増加。
- ・ 松園地域（盛岡市北部）の70年代に造成されたニュータウンが住民の高齢化により（後継者が居ないため）売りが増えている印象。
- ・ 土地価格はさらに上昇すると思われる。売り出し価格で成約になることが多い。一般消費者が新築で土地を探している場合、建物建築費用が高騰しているため、中古住宅に切り替えてリノベーションを考えている人が増えている。
- ・ 不動産売買の取引件数が鈍化してきている。
- ・ 相続で売る方が非常に多くなっている。今後は明らかに地価が下がると思う。
- ・ 新築住宅の価格が高くなったためか土地の動きが悪いが、逆に比較的価格が安い中古住宅がすぐに売れる。
- ・ 会社が盛岡の中心市街地ということもあり、飲食店などのテナントの出店希望のお客様も多い反面、トラブルも多い。
- ・ 盛南開発エリアの土地価格が高騰しており、少し価格が低い都南エリアでの引き合いが多くなっている。
- ・ 建築条件付きを解除するメーカーも出ている。
- ・ 土地価格上昇、建築費も値上がりしているメーカーも多く融資付けに苦戦している様子。そのため土地の予算を抑える傾向が強い。（郊外の土地など）
- ・ 年明け（R6年）から、売り出し物件が急速に件数が増えた。
- ・ 土地取引は減少傾向。中古住宅の需要が増加。（新築の資材コスト高いため、中古住宅を探す方が増えた。）

- 売り物件が少ないので、品薄感が強い。ただし、値段が極端に高いものは動かない。
- 中古住宅を求める人が増えた。
- 盛岡市内について、分譲マンションが過剰に建設されており、今後中古マンションの空き家が増加する。理由として、マンション適正化の改正により修繕積立金が増額しマンション投資の利回り減少が想定。
- 現在、売主側からの依頼が多くなっているような気がする。今が売り時だというオーナーが多いような気がする。
- 建築条件付の土地が建売住宅になっていることが多い。建築コストが上昇する前に建てたと思われる。
- 住宅ローンの返済に困っている方の相談があったが、数年前と比べて地価が上がっている地域と、反対に当時の価格から大幅に減少している地域もあり、残債の額以上で売却できるか差があった。
- 賃貸の引越シーズンは通常2月～3月がピークであったが、3月～5月に時期がずれ込んだ。引越業者の手配がつかなかったためと思われる。
- 相続した古い中古住宅の販売相談が増えている。土地・建物価格さらには金利が上げ基調で下がる様子なく、若い人が手を出しづらい。
- 建築資材高のため、開発や新築等減少。
- 昨年の同時期より、新築、新築用土地、中古住宅物件における不動産売買取引の動きが鈍い。
- 大手ハウスメーカーは軒並み賃料増額を実施している。

(紫波町)

- 大規模分譲による土地の過剰供給。

(矢巾町)

- 分譲予定があり、若い世代の動きが増加傾向。

(滝沢市)

- 滝沢市役所前の開発で期待感（活発化）がある。

④ 内陸南部

(花巻市)

- 新築アパートが多い。キオクシア対応で増加しているが、入居需要と賃料相場が適当かどうか不明。
- 市町村による助成金を利用したいとの声が増えてきたと感じる。
- アパートが供給過多気味である。

(北上市)

- 北上市はキオクシアの動向で大きく変わる。現在アパートはたくさん空いている。
- 県南エリア（北上市）の賃貸物件（特にアパート）の入居率が著しく低下している。
- 北上市に関して、キオクシア工場の工事が大きく影響している。良くも悪くも。（住宅用地＋アパート用地＋不動産の入居率）
- 下請業の話によると、値上げラッシュにより建材も工賃も上がった結果、同予算で建てられる坪数が小さくなっている。あるいは小さいならやめる、あるいは高いからマイホーム購入は控えるのが、はっきり現れている。
- 例年なら、1月2月の準備の段階で、春以降の忙しさが見えるのに今年はさっぱりだった。4月に入った今も、急に例年のように忙しくなるわけでもない。だから土地購入も件数がやや低下であろう。

(奥州市)

- 工業団地の事業者（メーカー）の下請けサプライチェーンのみ。
- 新築アパートの件数が急激に増加した。
- 集合住宅が多く建設されている。
- 売買物件の数が増加しているため、供給過多となり価格下落の要因となっている。そのため売主から価格を下げてほしいという要望、お願いがあるが、需要が追いついていない状況である。
- 人口密集地での安い中古住宅を求める若年層が増加している。
- 1Kのアパートの増加。

(一関市)

- 2024.4月より現場も週休2日となる意向にある。そのため、人件費・労務費が増加傾向にある。今後不動産の値上がりにも影響が出てくると考えている。
- 新築（マイホーム）希望傾向が根強いと感じる。建築コストの上昇により、住宅ローン金額上昇、先々の支出を不安に感じる。

■ 問10：自然災害リスクによる不動産取引等への影響

① 沿岸北部

(久慈市)

- ・ 一様に低調である。

(宮古市)

- ・ 宮古地区では警戒区域が広がり、住むところが山側だけになった説明をすると、足踏みするようになった。
- ・ 生活する上で利便性が良い場所は徐々にではあるが、防潮堤も嵩上げされ家が建つようになった。

(山田町)

- ・ 津波や土砂崩れなど、皆敏感になっている。

② 沿岸南部

(大船渡市)

- ・ 被災地域は避けられる傾向にある。

③ 県央部

(盛岡市)

- ・ 現状は影響等ない。
- ・ 案件の調査の結果で災害等の警戒区域であることを知ることが多く、災害リスクによる取引への影響はよくわからない（既に案件として動いている取引のため）というのが実情。
- ・ 土地、中古、賃貸にしても浸水想定区域を避ける人が増えている。
- ・ 川沿いは嫌われている。
- ・ ハザードマップを気にする方も多くなり、ハザードマップを常に更新・見直ししていくことが大切だと思う。
- ・ 不動産投資において、リスクエリアは外される傾向がある。
- ・ 東日本大震災以降はあまり感じられない。
- ・ 以前より、周辺の（土地・エリア）災害リスクを事前に調べて来店（相談）に来る方が増えている。今後は更に増えると予想。
- ・ 重説の時に国土地理院土地条件図の説明を加える。
- ・ 盛岡は自然災害の被害が少ないので、影響がないと思われる。
- ・ がけ地にある物件の動きは悪くなった。
- ・ 人口流出により地域経済の減少。
- ・ 今までも川が近い物件・土地は案内時に気にされる方が多かったが、今年の地震などにより一層その傾向が見られるようになった。
- ・ 引き続きハザードマップへの関心が高まっている。
- ・ 区域内をさけるお客様が増えたと感じる。
- ・ ハザードマップの重要性が増している。
- ・ 浸水想定区域に該当する不動産の取引が低調

- ・ 今まで以上に耐震性を求める需要が出てくれば、旧耐震等の古い建物の取引が減るのではないか。また、浸水区域への意識も高まり、買い控えをする動きも少しはあるのではないかと。
- ・ お客様が取引の際に慎重になると思われる。

(紫波町)

- ・ 浸水地域への関心が高い。
- ・ 中古住宅の耐震強化への関心も高まっている。
- ・ 擁壁や高圧線、電柱等細部にわたっての質問や要求が増えてきた。
- ・ 子育てエコホーム等の補助金利用、災害リスクへの意識が高く、成約までのスパンの長期化の懸念がある。

④ 内陸南部

(花巻市)

- ・ 耐震面に対する顧客からの質問が増えたと感じる。
- ・ ハザードマップに注視傾向。

(北上市)

- ・ 浸水想定区域の不動産取引が低調である。
- ・ 過去もだったが、災害直後はハザードへの興味が増え、確認されることも多い。

(奥州市)

- ・ ハザードマップへの関心が高くなっている方が増えた。
- ・ エリア的に津波が関係する所がなく不明。
- ・ お客様のハザードマップ等の自然災害リスクによる物件の選別はあまり感じられない。

(一関市)

- ・ 地盤調査・改良業者が足りず能登まで出張に行っているようだ。
- ・ 地盤強化と建物耐震性の強化が重要。

■ その他（先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等への意見・要望等）

① 沿岸北部

（久慈市）

- ・ 有効な過疎地対策が必用である。このアンケートがどのようにいかされるだろうか。
- ・ 土地収用における補償額について市場価格優先。

（宮古市）

- ・ 人口減少により暗い。
- ・ どのように利用するのか？

（山田町）

- ・ 沿岸地域の減少がやまず、何か大きなプロジェクトが必要に思われる。ふるさとへ帰郷したくても仕事がなく、収入の道がないため誰も戻ってこない。

② 沿岸南部

（大船渡市）

- ・ 人口減少に歯止めが効いていないので、居住、商業、工業問わず、市内へ転入・進出に何らかの優遇措置を拡充して欲しい。
- ・ 空き家バンクの予算増額などなど。

③ 県中部

（盛岡市）

- ・ メインの営業業務である住宅地については、ある程度答えることが出来るが、その他の質問事項についてはかなり感覚的な答えになっている。
- ・ 二極化が激しくなる。売れない土地がたくさん出てくる。
- ・ 調整区域の緩和をお願いしたい。
- ・ 解体費を補助する制度を要望してほしい。
- ・ 相続登記が義務化されたようだが、手続きを簡素化してほしい。非協力的な方がいた場合、強制執行できればと思う。
- ・ 資金力がある大手住宅会社が不動産取引業に参入してくるのではないだろうか。
- ・ スマートシティの具体的な取り組みに期待。
- ・ 今は中古住宅の動きが悪く、特に新しめの中古が高いという印象があるが、これから更に新築のコストが上がれば中古住宅にも動きが出てくるのかと思う。

（紫波町）

- ・ 空き家（農地含む）が増えて売却希望も増えているが、農地転用できずに売却できない。利用不可の農地など、もっと柔軟な対応を希望。

④ 内陸南部

（北上市）

- ・ 賃貸についてはキオクシアの影響に左右されるとみる。

(奥州市)

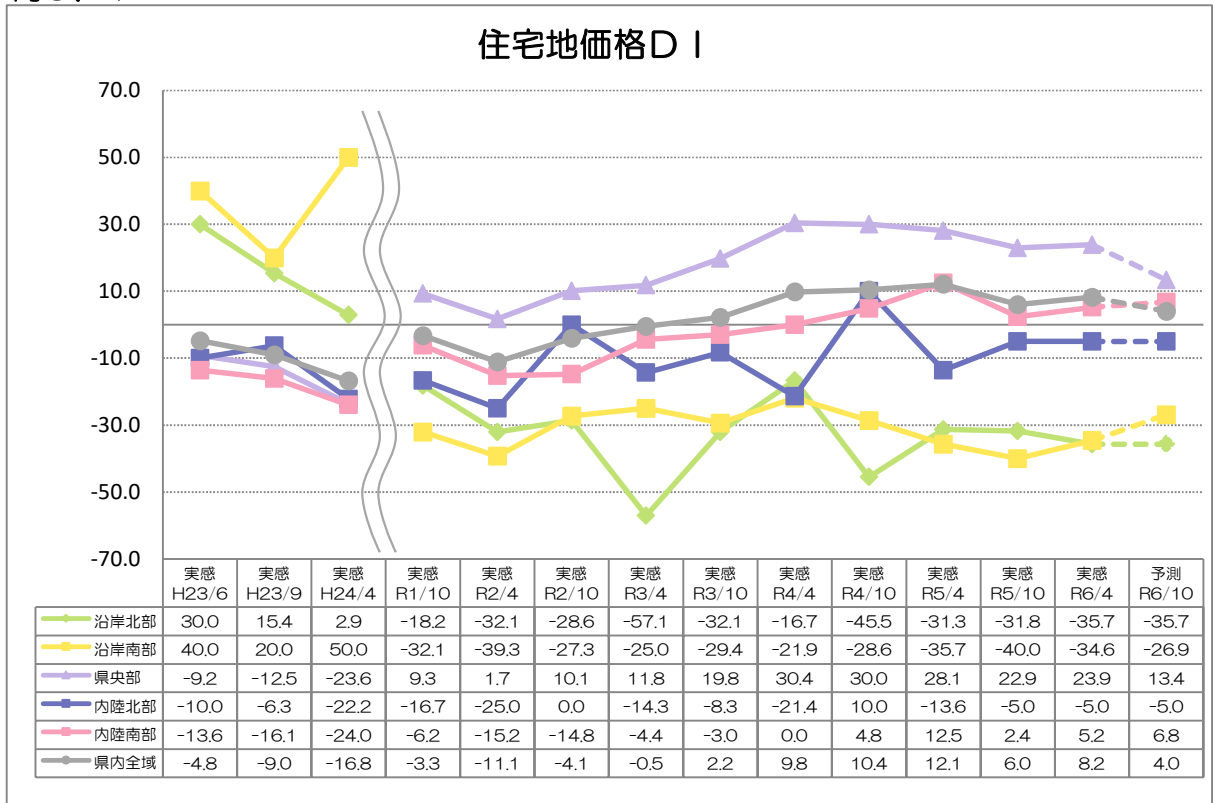
- 住宅用地、アパート用地の需要が下がる見込み（人口減少）中で、空き家だけでなく、農地の管理も難しくなる。国・県・市町村それぞれ、有効活用する術を早く探さなければならない。
- 奥州市では、水道の負担が4月から増えて、分譲事業に相当影響が出るのではと危惧している。

(一関市)

- 衣食住全てにおいて高価になっており、どこでバランスをとるか。大切なコミュニケーション不足にならないよう願うが、円安に歯止めを掛けてほしい所だ。（仕入れ材料の高騰による値上げ解消）

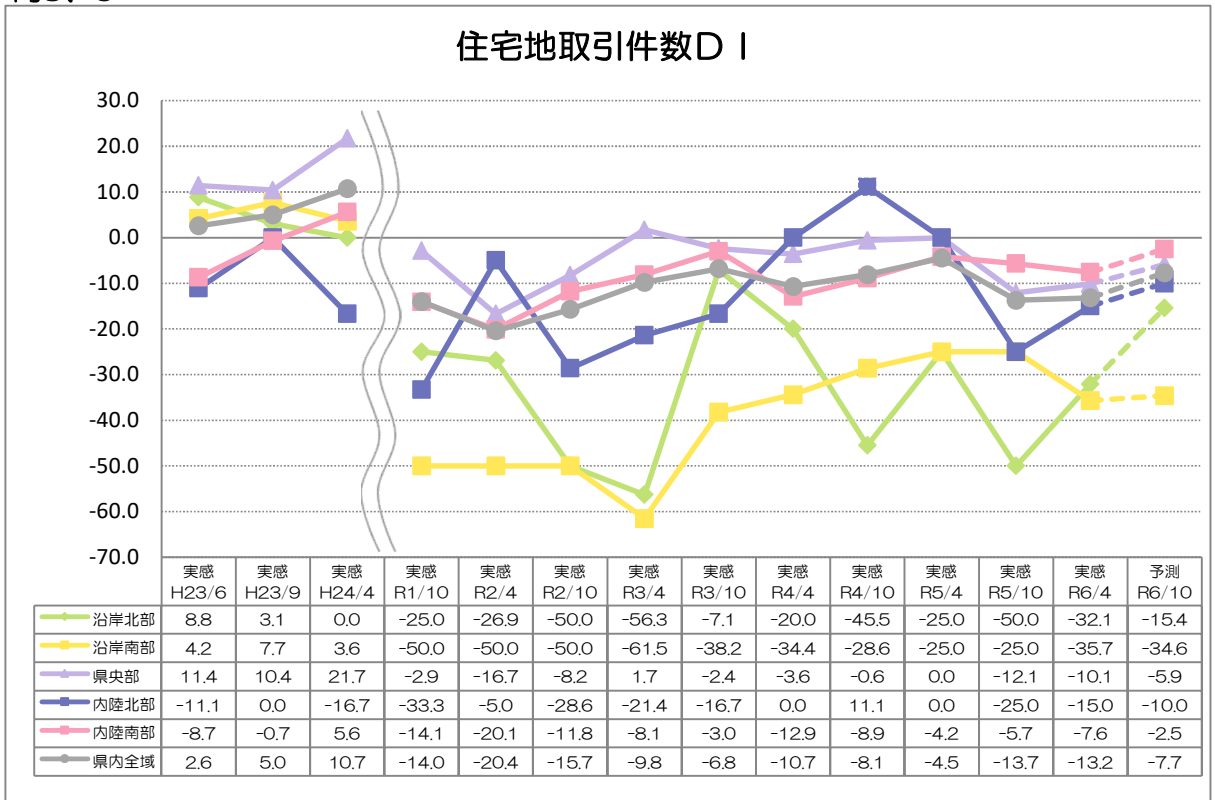
(2) 動向判断指数 (DI) による分析

問3、4



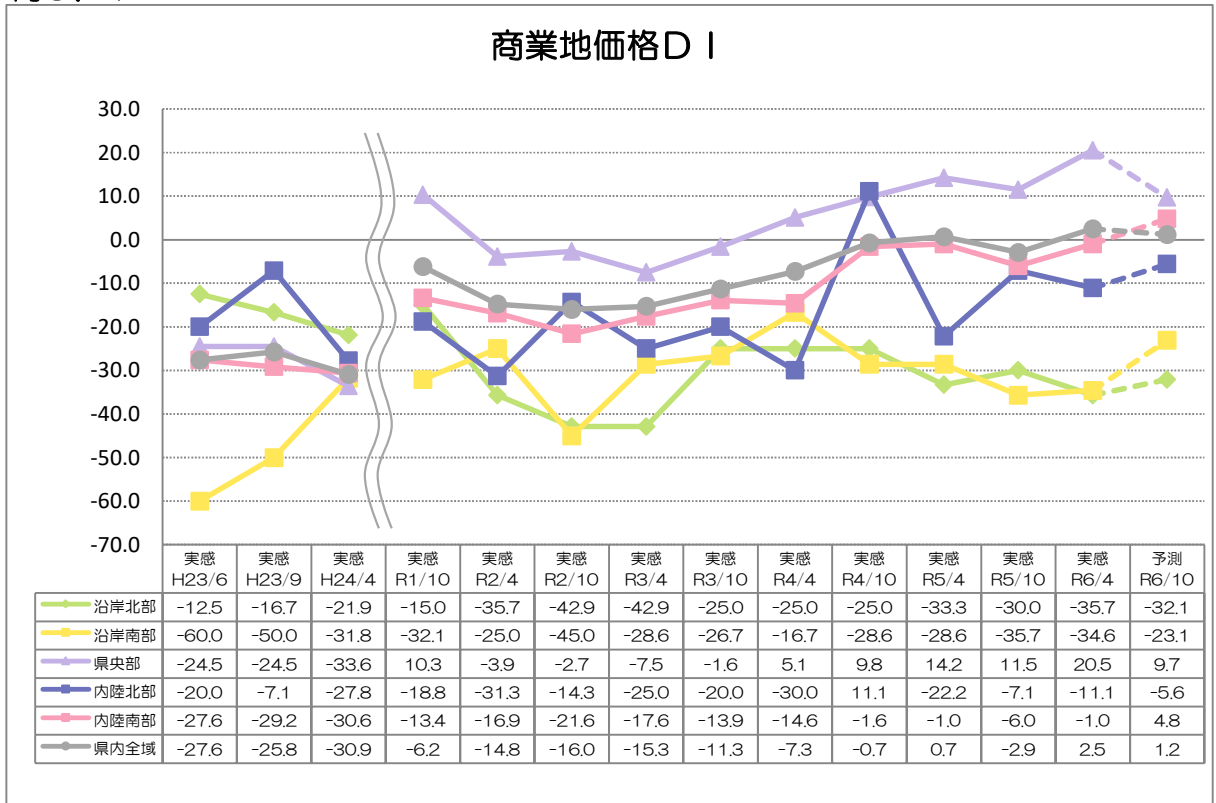
※実感H23/6は第1回調査 (H23.6.1時点) の調査結果、実感H23/9は第2回調査 (H23.9.1時点) の調査結果、実感H24/4は第3回調査 (H24.4.1時点) の調査結果で、以後半年ごとの調査。(以下同様)

問5、6

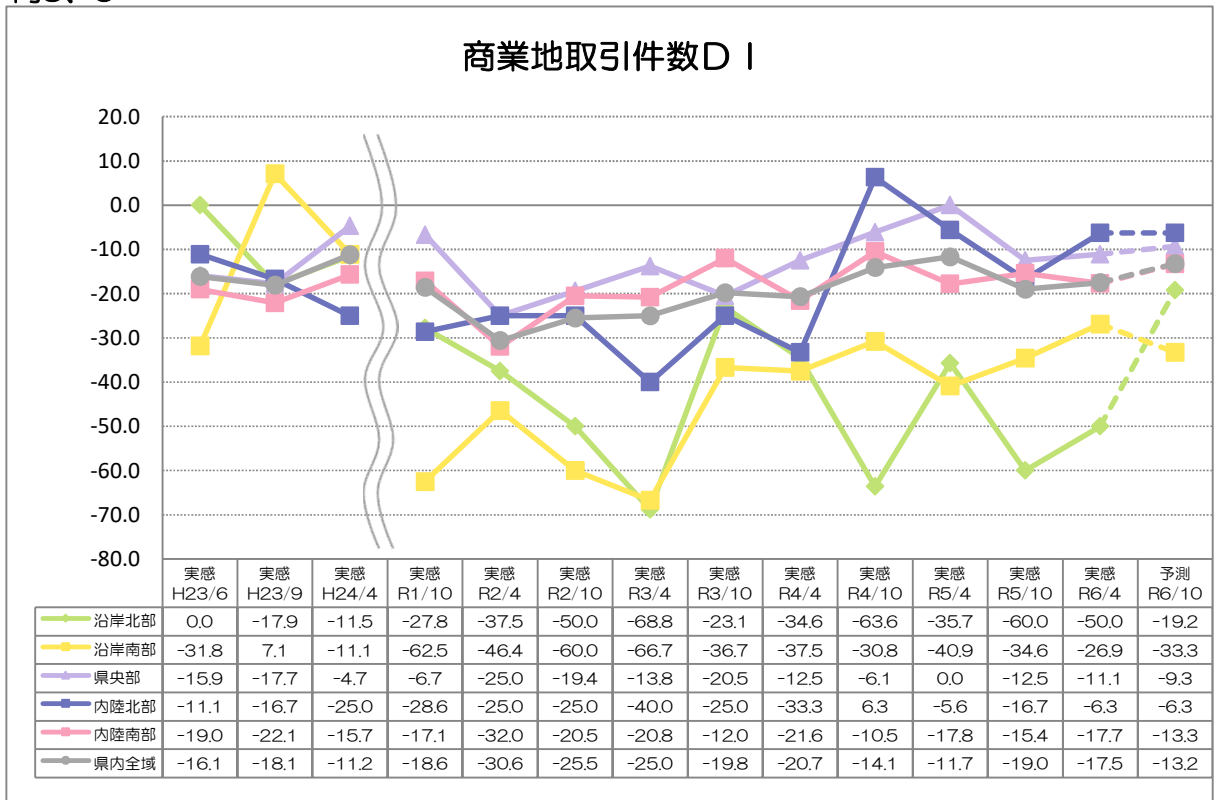


- 住宅地価格DIは、実感・予測とも、県中部及び内陸南部がプラス、他地域はマイナス。
- 住宅地取引件数DIは、前回に引き続き、実感・予測とも全ての地域でマイナス。

問3、4

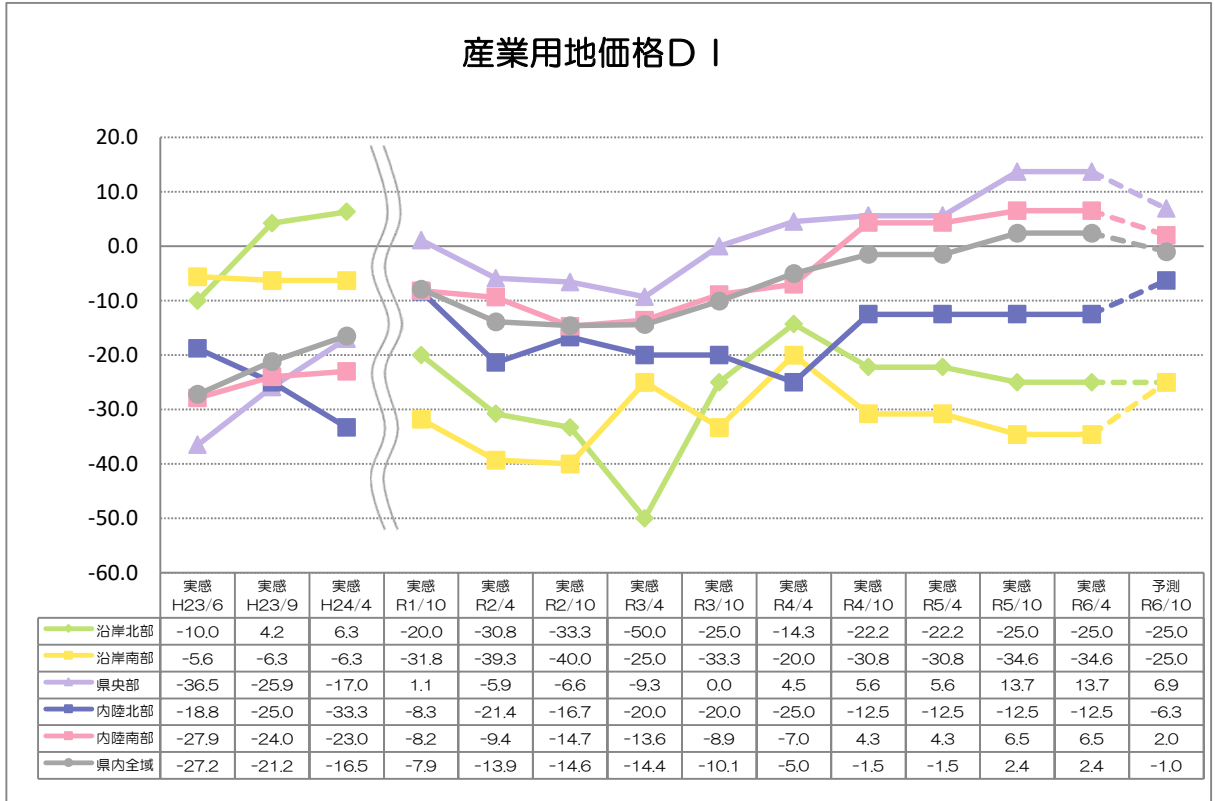


問5、6

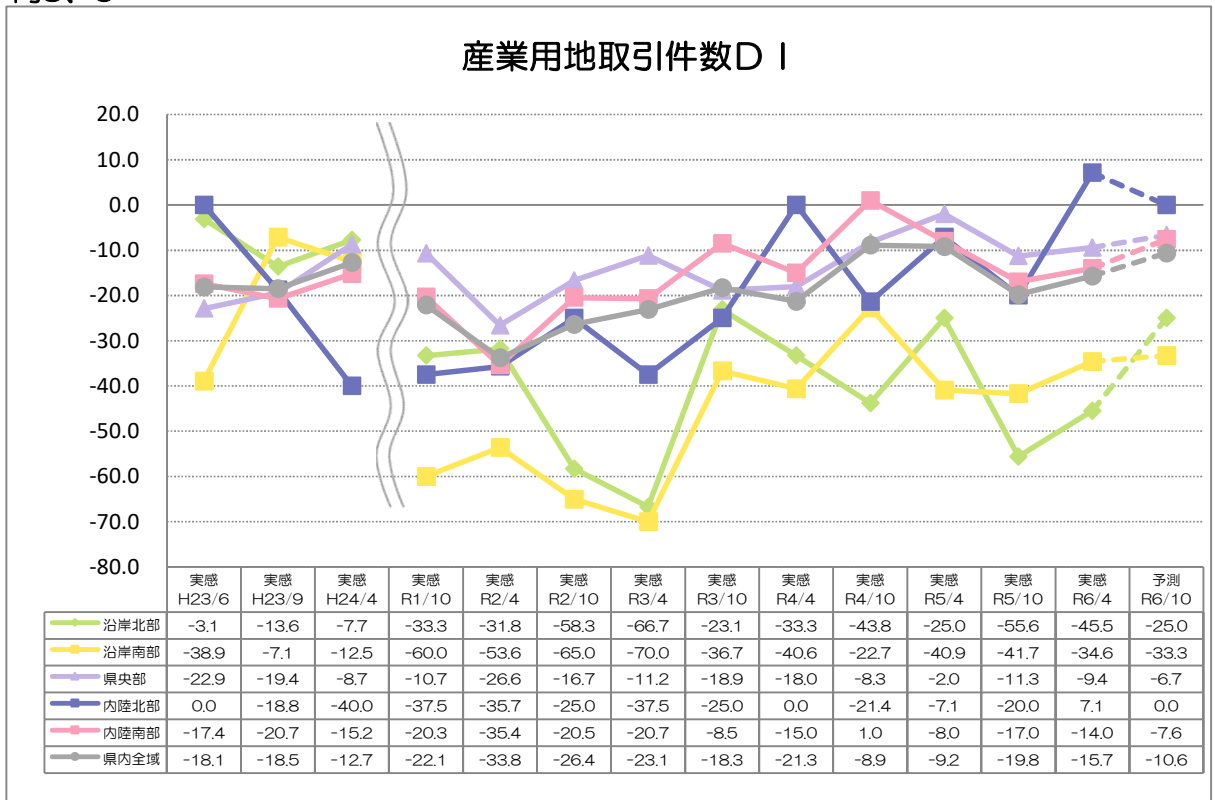


- 商業地価格DIは、実感は県央部のみプラス、予測は県央部・内陸南部がプラス。
- 商業地取引件数DIは、前回に引き続き、実感・予測とも全ての地域でマイナス。

問3、4

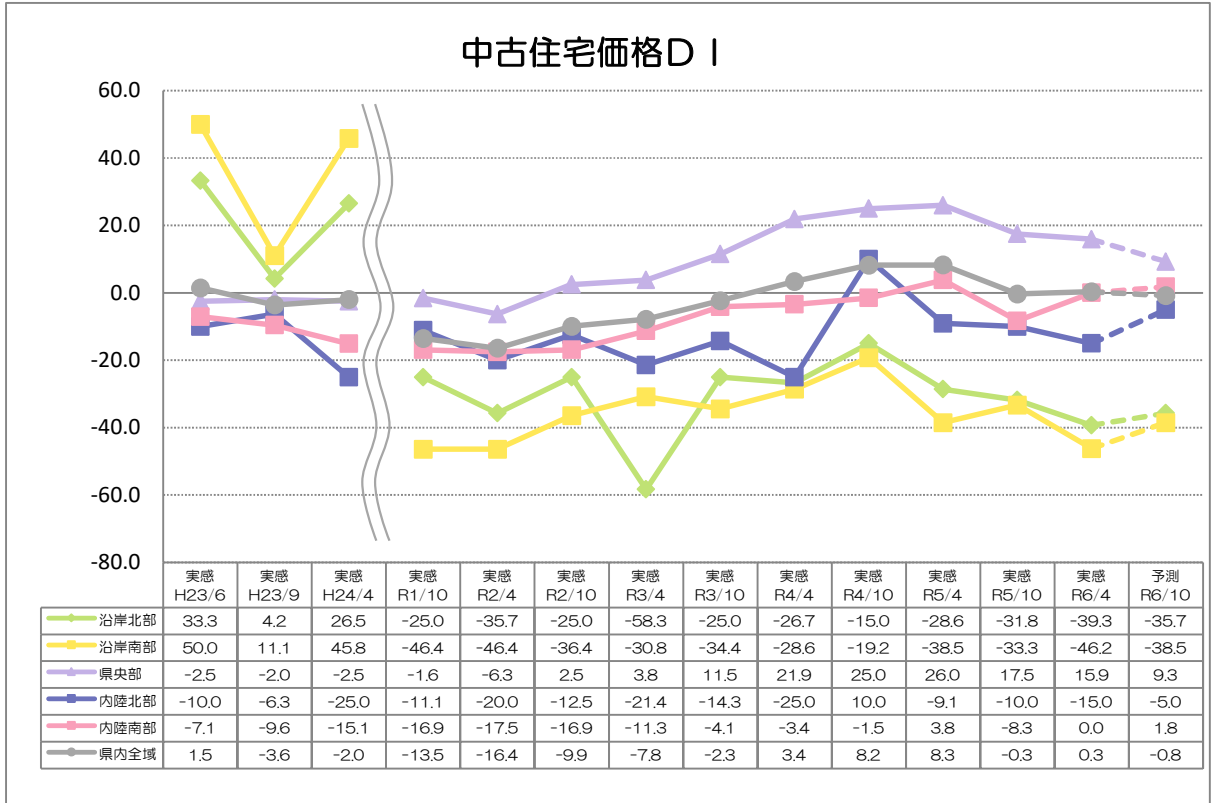


問5、6

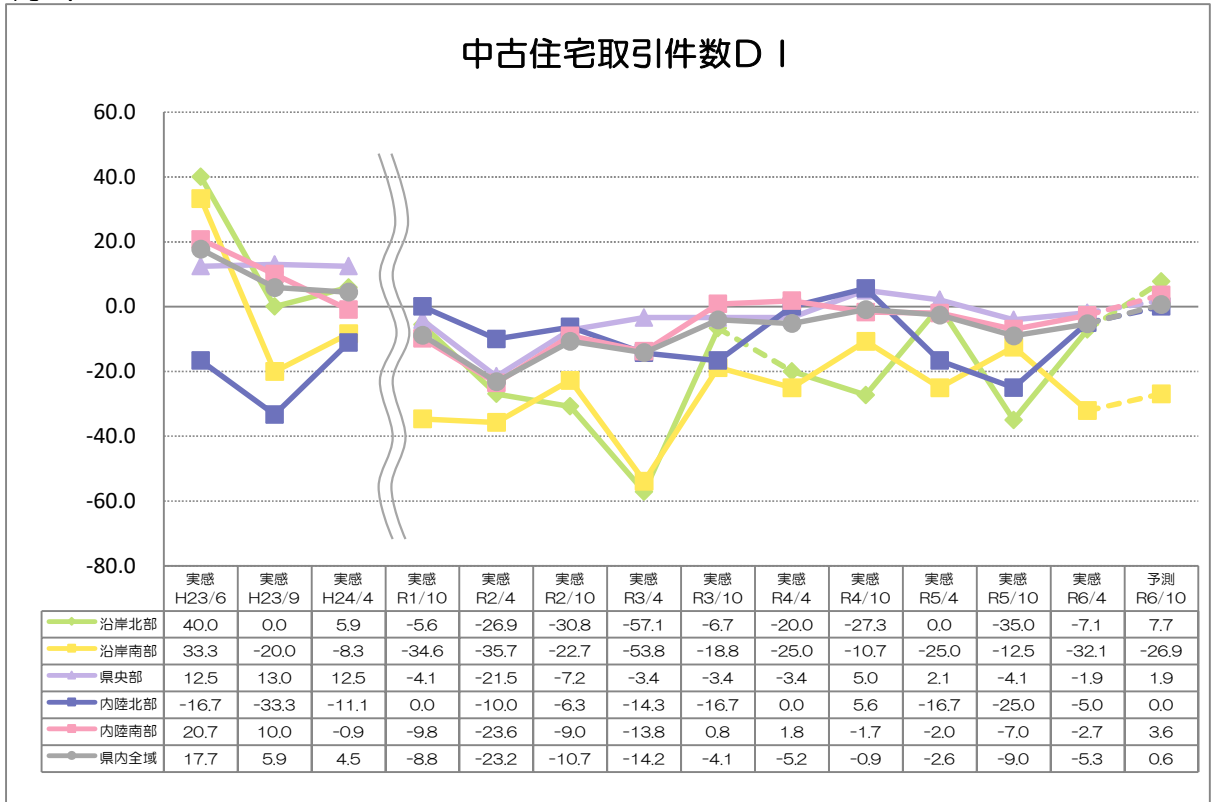


- 産業用地価格DIIは、実感・予測とも県央部及び内陸南部がプラス、他地域はマイナス。
- 産業用地取引件数DIIは、内陸北部の実感のプラス、予測の横ばいのほかは全てマイナス。

問3、4

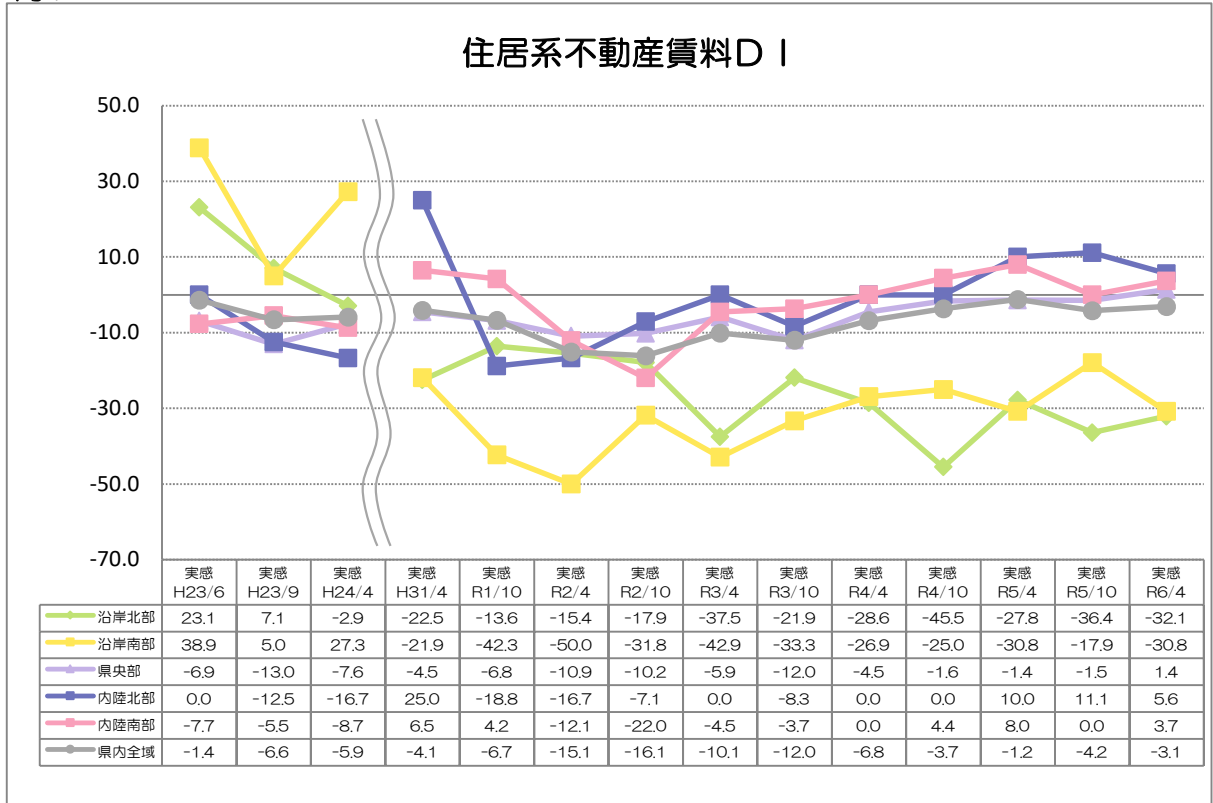


問5、6

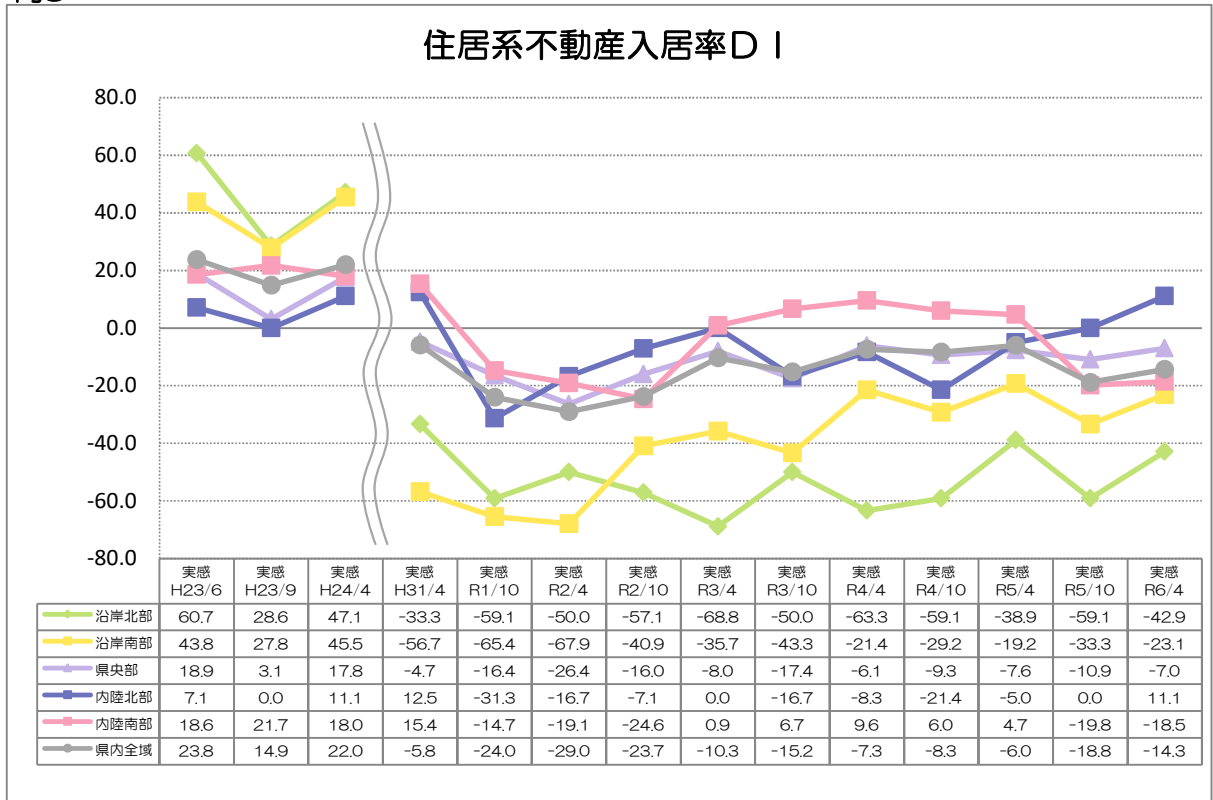


- 中古住宅価格DIは、県中部の実感が前回に引き続きプラス、内陸南部の実感が横ばいとなった。
- 中古住宅取引件数DIは、実感は引き続き全地域でマイナス、予測は全地域のマイナスから、沿岸南部のみマイナスを継続したほかはプラスまたは横ばいとなった。

問7

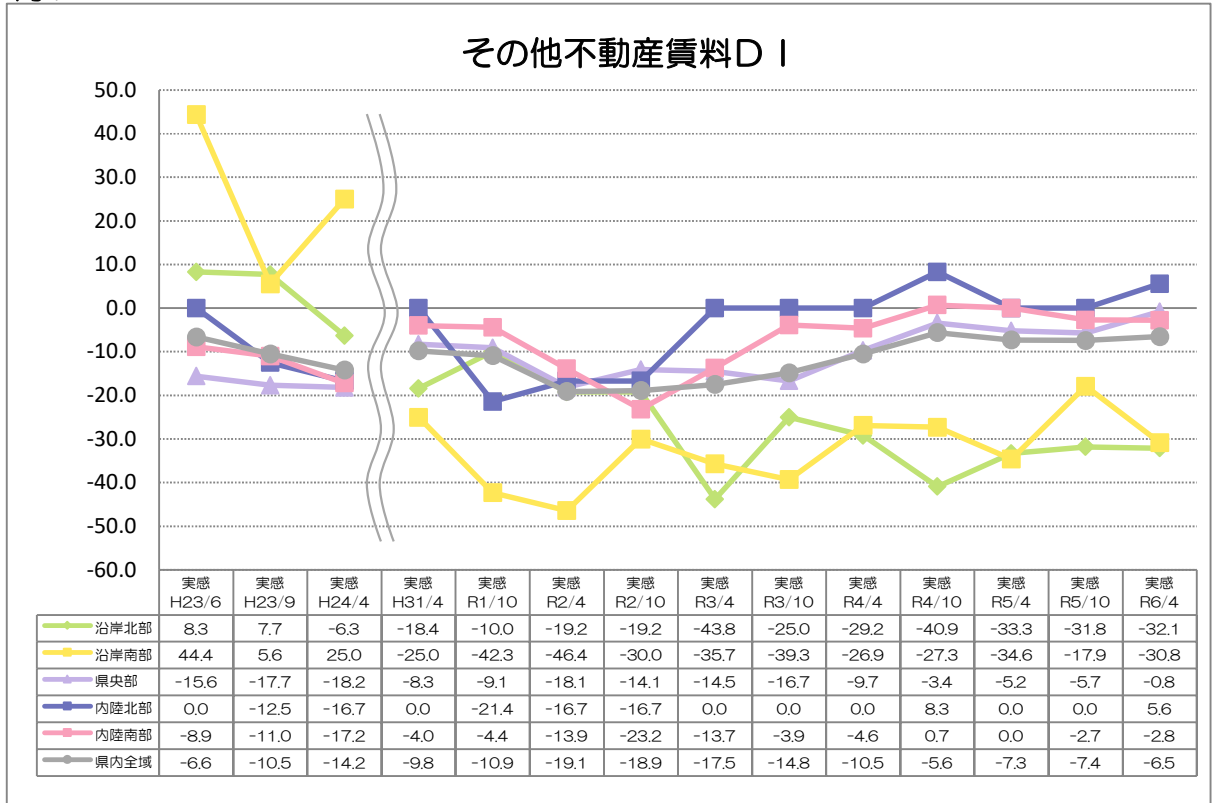


問8

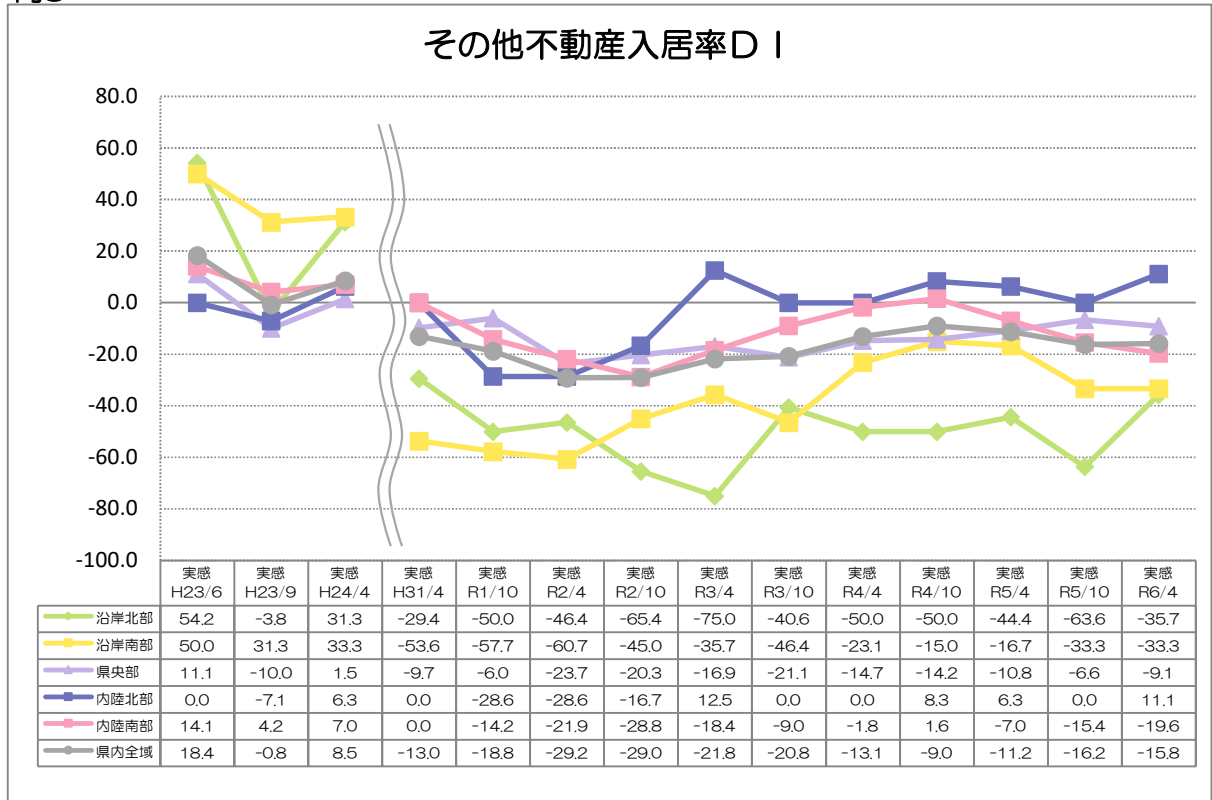


- 住居系不動産賃料DIIは、県央部・内陸南部がプラスとなり、沿岸部のみがマイナス。
- 住居系不動産入居率DIIは、内陸北部が横ばいからプラスとなったほかは引き続きマイナス。

問7



問8



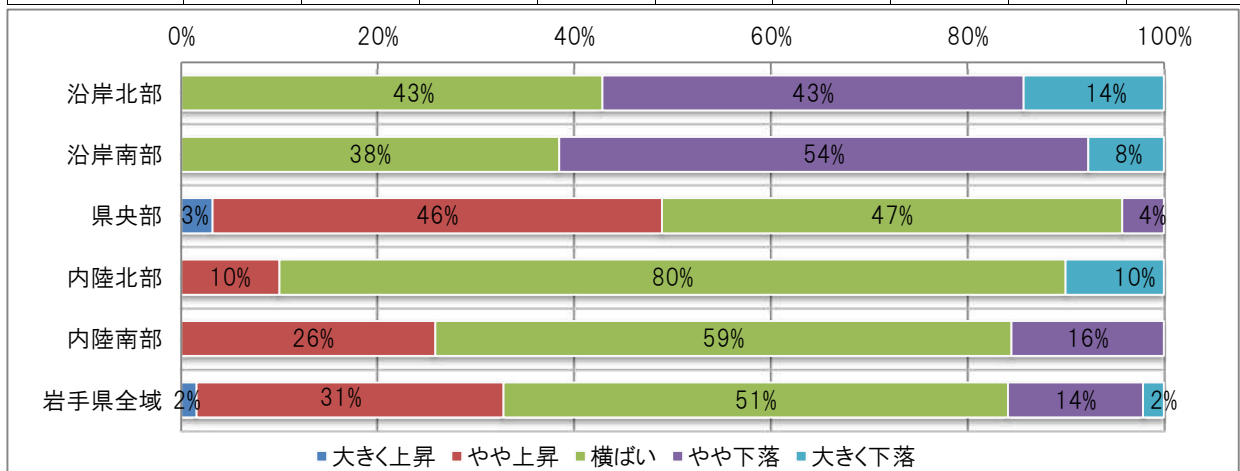
- その他不動産賃料DIは、内陸北部が横ばいからプラスとなったほかは引き続きマイナス。
- その他不動産入居率DIも、内陸北部が横ばいからプラスに、他の地域は引き続きマイナス。

2. 設問ごとの回答内訳

問3:取引価格の6ヶ月前(R5.10.1時点)との比較 ①

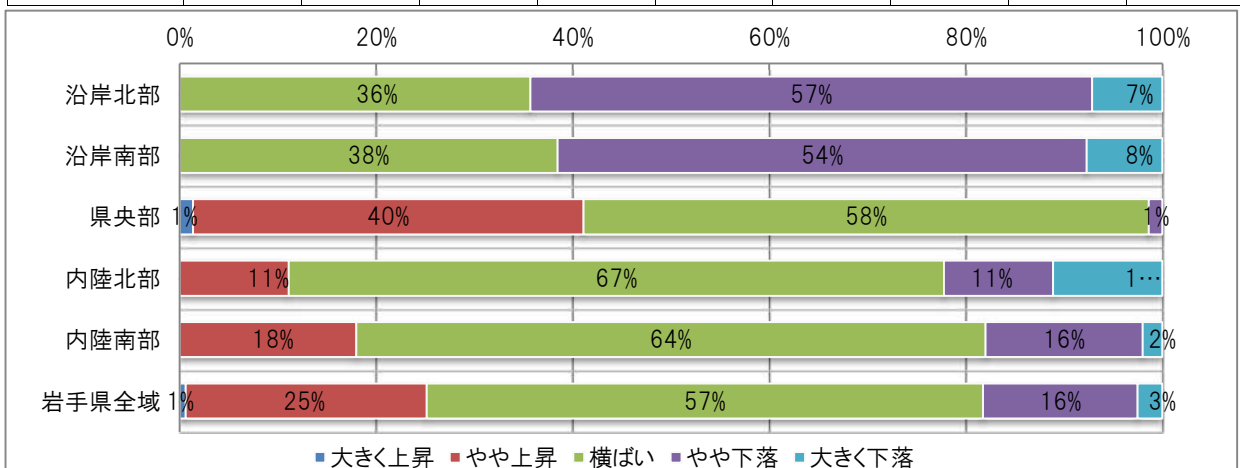
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	0	6	6	2	14	1	15
		0%	0%	43%	43%	14%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	5	7	1	13	1	14
		0%	0%	38%	54%	8%	100%		
県央部	23.9	3	43	44	4	0	94	6	100
		3%	46%	47%	4%	0%	100%		
内陸北部	-5.0	0	1	8	0	1	10	0	10
		0%	10%	80%	0%	10%	100%		
内陸南部	5.2	0	15	34	9	0	58	3	61
		0%	26%	59%	16%	0%	100%		
岩手県全域	8.2	3	59	97	26	4	189	11	200
		2%	31%	51%	14%	2%	100%		



【商業地】

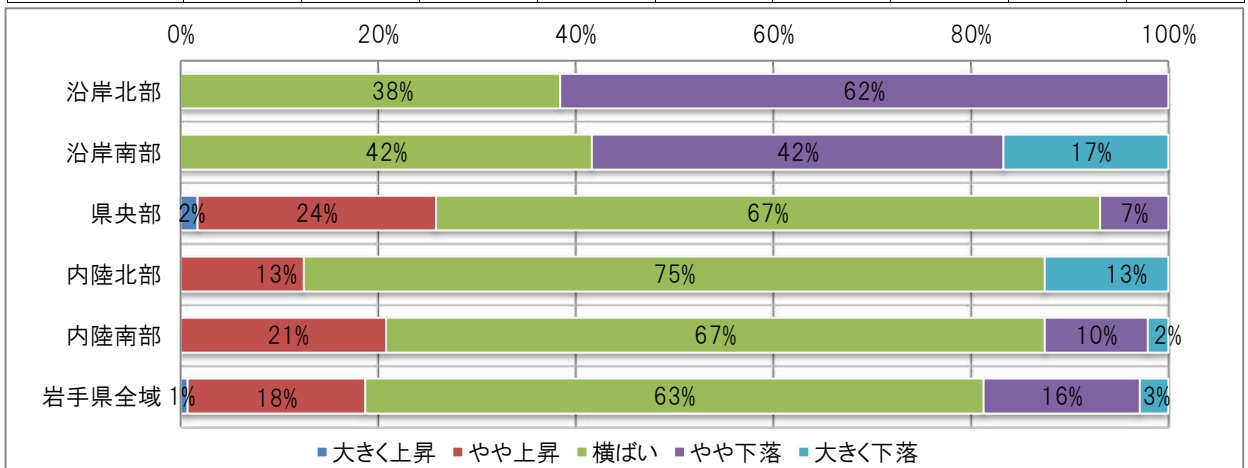
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	0	5	8	1	14	1	15
		0%	0%	36%	57%	7%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	5	7	1	13	1	14
		0%	0%	38%	54%	8%	100%		
県央部	20.5	1	29	42	1	0	73	27	100
		1%	40%	58%	1%	0%	100%		
内陸北部	-11.1	0	1	6	1	1	9	1	10
		0%	11%	67%	11%	11%	100%		
内陸南部	-1.0	0	9	32	8	1	50	11	61
		0%	18%	64%	16%	2%	100%		
岩手県全域	2.5	1	39	90	25	4	159	41	200
		1%	25%	57%	16%	3%	100%		



問3:取引価格の6ヶ月前(R5.10.1時点)との比較 ②

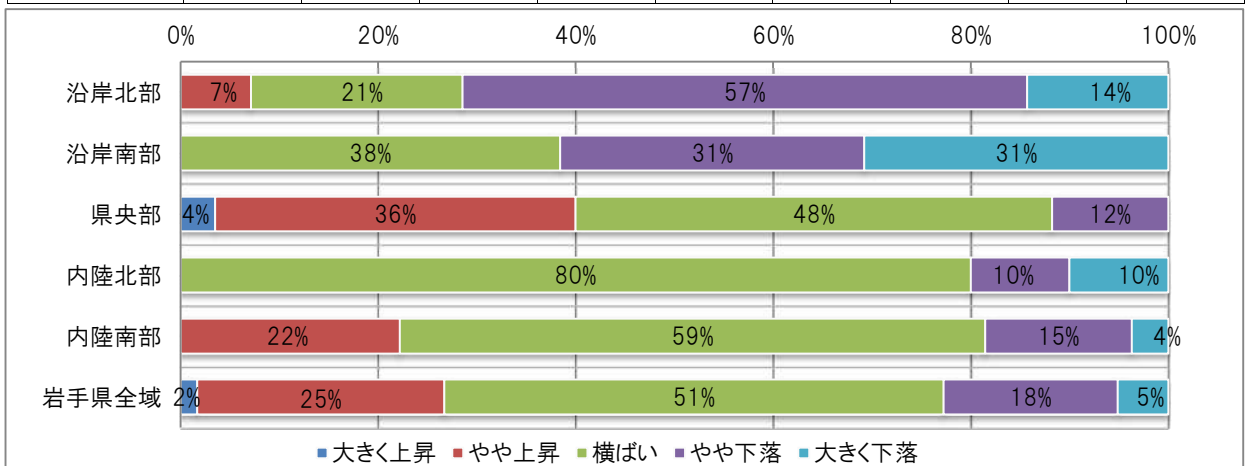
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-30.8	0	0	5	8	0	13	2	15
		0%	0%	38%	62%	0%	100%		
沿岸南部	-37.5	0	0	5	5	2	12	2	14
		0%	0%	42%	42%	17%	100%		
県央部	10.3	1	14	39	4	0	58	42	100
		2%	24%	67%	7%	0%	100%		
内陸北部	-6.3	0	1	6	0	1	8	2	10
		0%	13%	75%	0%	13%	100%		
内陸南部	3.1	0	10	32	5	1	48	13	61
		0%	21%	67%	10%	2%	100%		
岩手県全域	-1.1	1	25	87	22	4	139	61	200
		1%	18%	63%	16%	3%	100%		



【中古住宅】

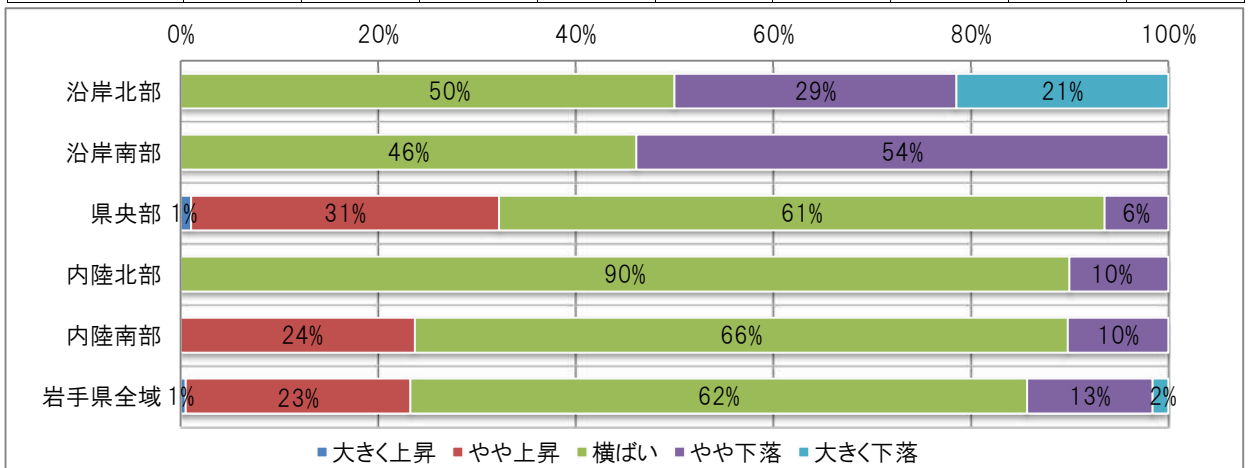
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-39.3	0	1	3	8	2	14	1	15
		0%	7%	21%	57%	14%	100%		
沿岸南部	-46.2	0	0	5	4	4	13	1	14
		0%	0%	38%	31%	31%	100%		
県央部	15.9	3	31	41	10	0	85	15	100
		4%	36%	48%	12%	0%	100%		
内陸北部	-15.0	0	0	8	1	1	10	0	10
		0%	0%	80%	10%	10%	100%		
内陸南部	0.0	0	12	32	8	2	54	7	61
		0%	22%	59%	15%	4%	100%		
岩手県全域	0.3	3	44	89	31	9	176	24	200
		2%	25%	51%	18%	5%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ①

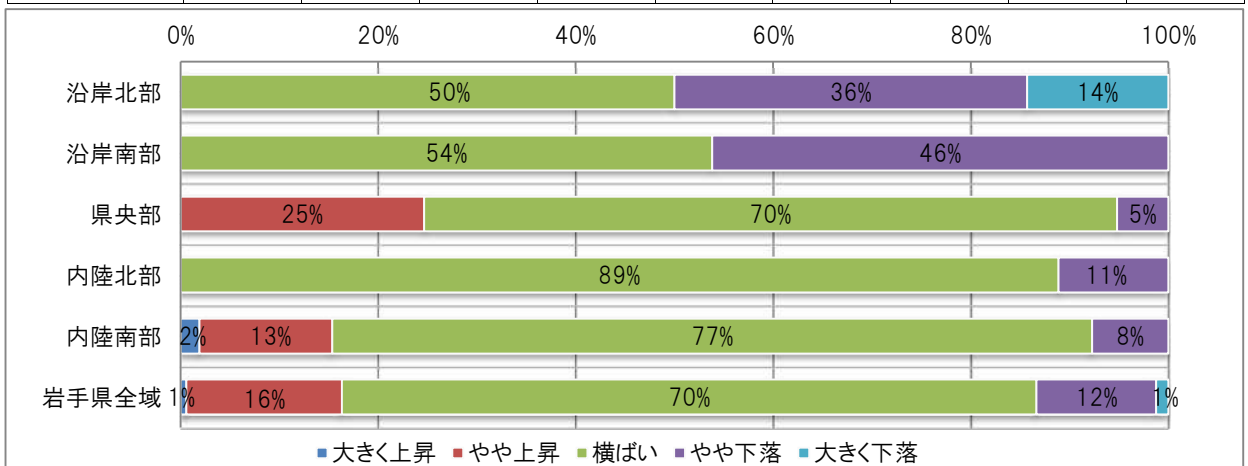
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	0	7	4	3	14	1	15
		0%	0%	50%	29%	21%	100%		
沿岸南部	-26.9	0	0	6	7	0	13	1	14
		0%	0%	46%	54%	0%	100%		
県央部	13.4	1	29	57	6	0	93	7	100
		1%	31%	61%	6%	0%	100%		
内陸北部	-5.0	0	0	9	1	0	10	0	10
		0%	0%	90%	10%	0%	100%		
内陸南部	6.8	0	14	39	6	0	59	2	61
		0%	24%	66%	10%	0%	100%		
岩手県全域	4.0	1	43	118	24	3	189	11	200
		1%	23%	62%	13%	2%	100%		



【商業地】

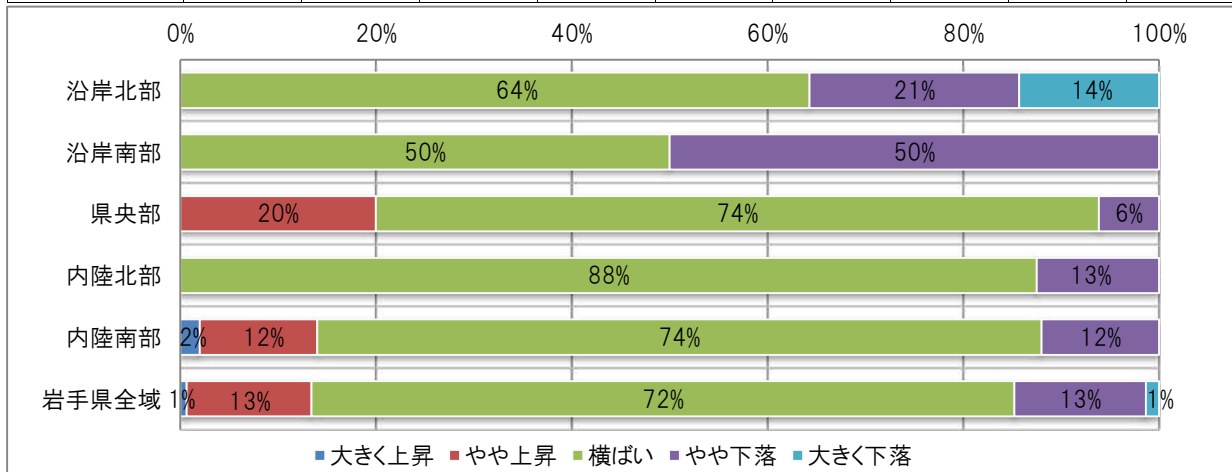
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-32.1	0	0	7	5	2	14	1	15
		0%	0%	50%	36%	14%	100%		
沿岸南部	-23.1	0	0	7	6	0	13	1	14
		0%	0%	54%	46%	0%	100%		
県央部	9.7	0	19	54	4	0	77	23	100
		0%	25%	70%	5%	0%	100%		
内陸北部	-5.6	0	0	8	1	0	9	1	10
		0%	0%	89%	11%	0%	100%		
内陸南部	4.8	1	7	40	4	0	52	9	61
		2%	13%	77%	8%	0%	100%		
岩手県全域	1.2	1	26	116	20	2	165	35	200
		1%	16%	70%	12%	1%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ②

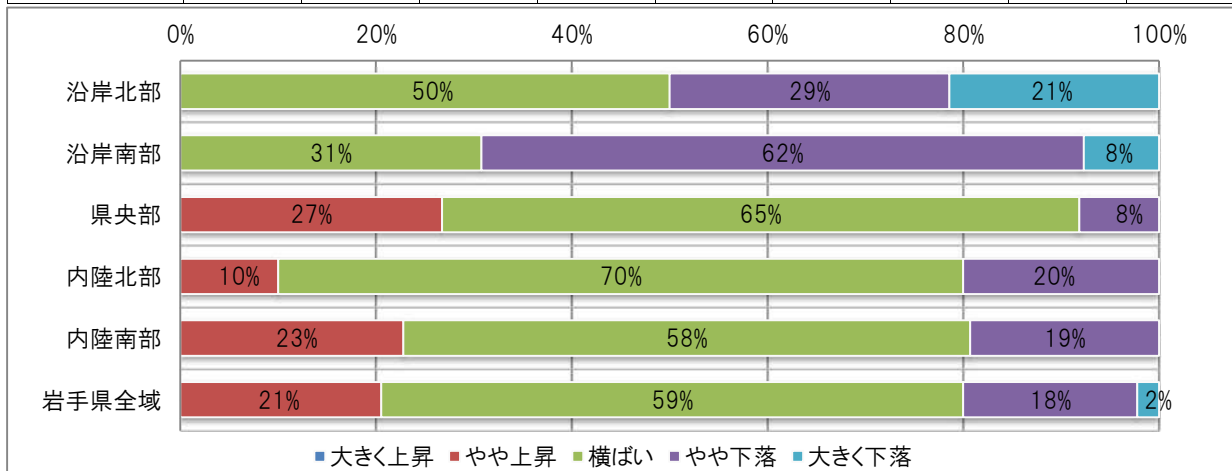
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	0	9	3	2	14	1	15
		0%	0%	64%	21%	14%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	0	6	6	0	12	2	14
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
県央部	6.9	0	13	48	4	0	65	35	100
		0%	20%	74%	6%	0%	100%		
内陸北部	-6.3	0	0	7	1	0	8	2	10
		0%	0%	88%	13%	0%	100%		
内陸南部	2.0	1	6	37	6	0	50	11	61
		2%	12%	74%	12%	0%	100%		
岩手県全域	-1.0	1	19	107	20	2	149	51	200
		1%	13%	72%	13%	1%	100%		



【中古住宅】

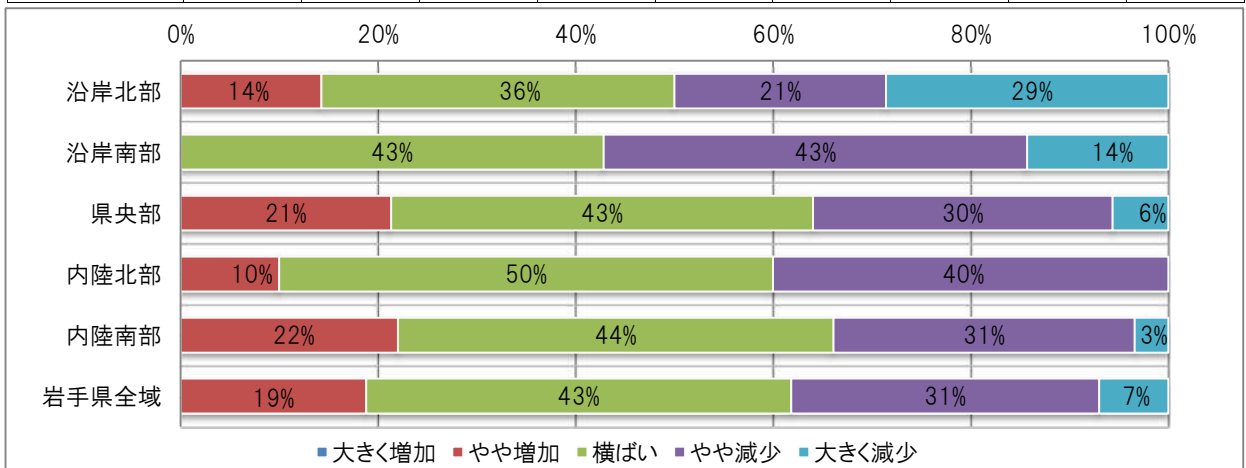
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	0	7	4	3	14	1	15
		0%	0%	50%	29%	21%	100%		
沿岸南部	-38.5	0	0	4	8	1	13	1	14
		0%	0%	31%	62%	8%	100%		
県央部	9.3	0	23	56	7	0	86	14	100
		0%	27%	65%	8%	0%	100%		
内陸北部	-5.0	0	1	7	2	0	10	0	10
		0%	10%	70%	20%	0%	100%		
内陸南部	1.8	0	13	33	11	0	57	4	61
		0%	23%	58%	19%	0%	100%		
岩手県全域	-0.8	0	37	107	32	4	180	20	200
		0%	21%	59%	18%	2%	100%		



問5:取引件数の6ヶ月前(R5.10.1時点)との比較 ①

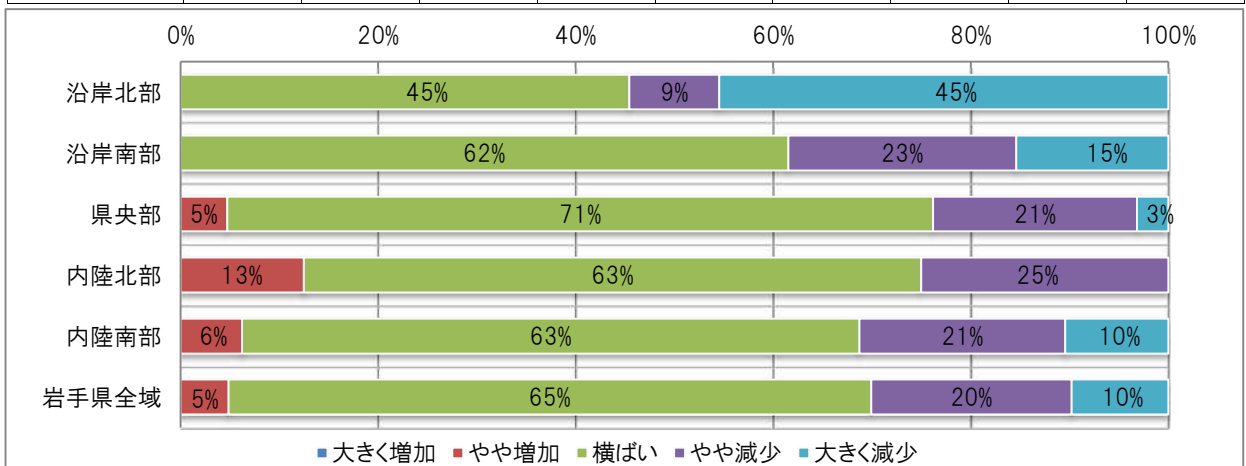
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-32.1	0	2	5	3	4	14	1	15
		0%	14%	36%	21%	29%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	0	6	6	2	14	0	14
		0%	0%	43%	43%	14%	100%		
県央部	-10.1	0	19	38	27	5	89	11	100
		0%	21%	43%	30%	6%	100%		
内陸北部	-15.0	0	1	5	4	0	10	0	10
		0%	10%	50%	40%	0%	100%		
内陸南部	-7.6	0	13	26	18	2	59	2	61
		0%	22%	44%	31%	3%	100%		
岩手県全域	-13.2	0	35	80	58	13	186	14	200
		0%	19%	43%	31%	7%	100%		



【商業地】

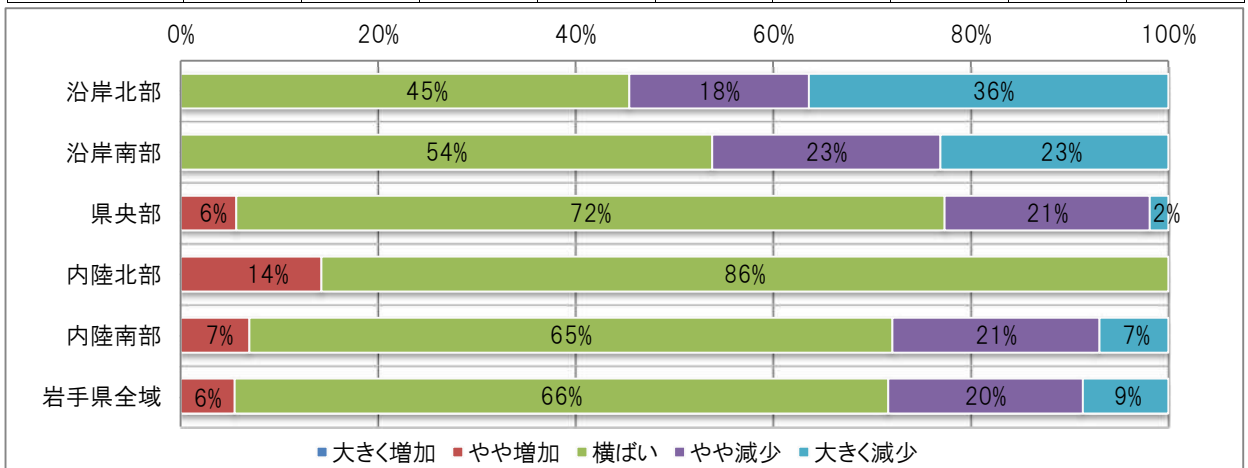
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-50.0	0	0	5	1	5	11	4	15
		0%	0%	45%	9%	45%	100%		
沿岸南部	-26.9	0	0	8	3	2	13	1	14
		0%	0%	62%	23%	15%	100%		
県央部	-11.1	0	3	45	13	2	63	37	100
		0%	5%	71%	21%	3%	100%		
内陸北部	-6.3	0	1	5	2	0	8	2	10
		0%	13%	63%	25%	0%	100%		
内陸南部	-17.7	0	3	30	10	5	48	13	61
		0%	6%	63%	21%	10%	100%		
岩手県全域	-17.5	0	7	93	29	14	143	57	200
		0%	5%	65%	20%	10%	100%		



問5:取引件数の6ヶ月前(R5.10.1時点)との比較 ②

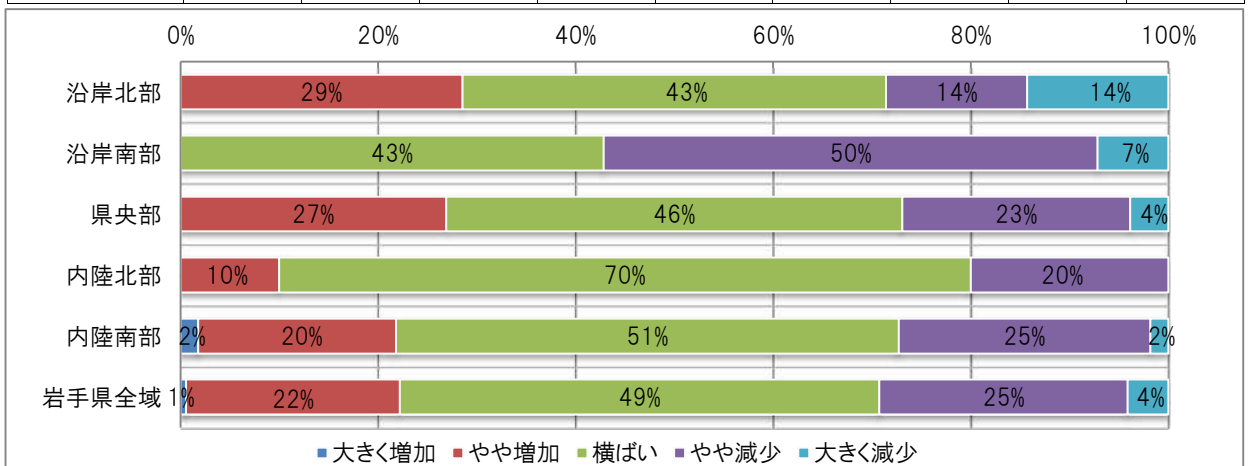
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.5	0	0	5	2	4	11	4	15
		0%	0%	45%	18%	36%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	7	3	3	13	1	14
		0%	0%	54%	23%	23%	100%		
県央部	-9.4	0	3	38	11	1	53	47	100
		0%	6%	72%	21%	2%	100%		
内陸北部	7.1	0	1	6	0	0	7	3	10
		0%	14%	86%	0%	0%	100%		
内陸南部	-14.0	0	3	28	9	3	43	18	61
		0%	7%	65%	21%	7%	100%		
岩手県全域	-15.7	0	7	84	25	11	127	73	200
		0%	6%	66%	20%	9%	100%		



【中古住宅】

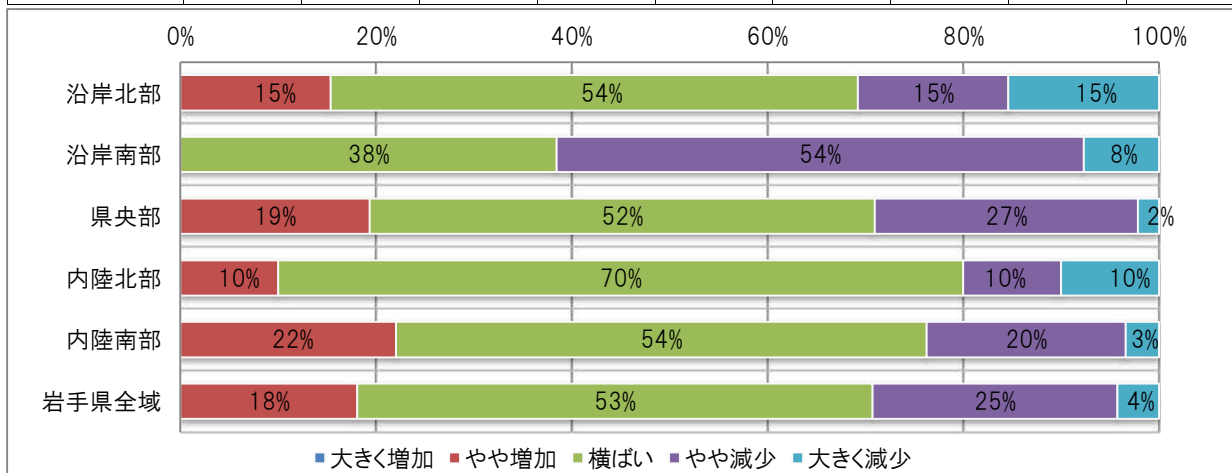
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-7.1	0	4	6	2	2	14	1	15
		0%	29%	43%	14%	14%	100%		
沿岸南部	-32.1	0	0	6	7	1	14	0	14
		0%	0%	43%	50%	7%	100%		
県央部	-1.9	0	21	36	18	3	78	22	100
		0%	27%	46%	23%	4%	100%		
内陸北部	-5.0	0	1	7	2	0	10	0	10
		0%	10%	70%	20%	0%	100%		
内陸南部	-2.7	1	11	28	14	1	55	6	61
		2%	20%	51%	25%	2%	100%		
岩手県全域	-5.3	1	37	83	43	7	171	29	200
		1%	22%	49%	25%	4%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ①

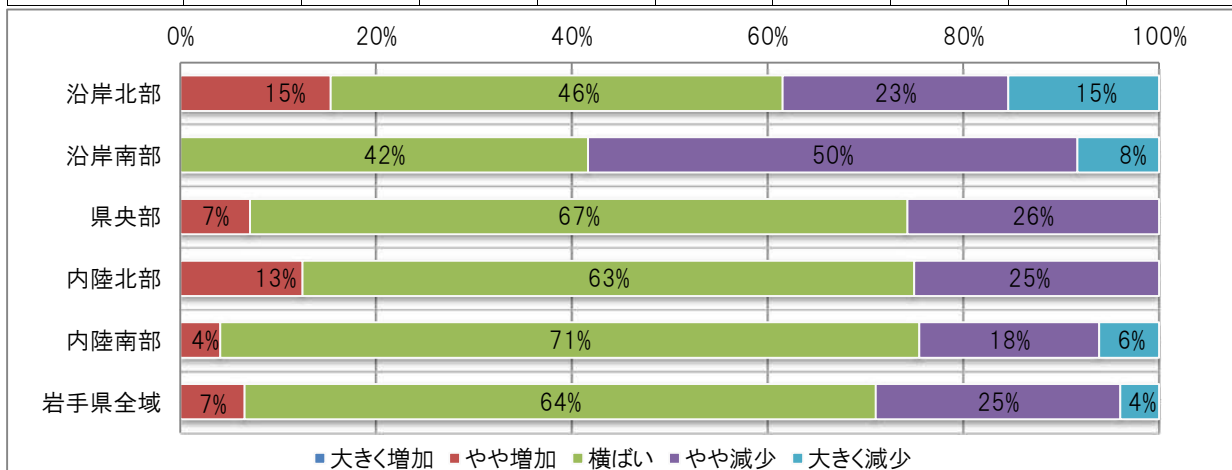
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-15.4	0	2	7	2	2	13	2	15
		0%	15%	54%	15%	15%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	5	7	1	13	1	14
		0%	0%	38%	54%	8%	100%		
県央部	-5.9	0	18	48	25	2	93	7	100
		0%	19%	52%	27%	2%	100%		
内陸北部	-10.0	0	1	7	1	1	10	0	10
		0%	10%	70%	10%	10%	100%		
内陸南部	-2.5	0	13	32	12	2	59	2	61
		0%	22%	54%	20%	3%	100%		
岩手県全域	-7.7	0	34	99	47	8	188	12	200
		0%	18%	53%	25%	4%	100%		



【商業地】

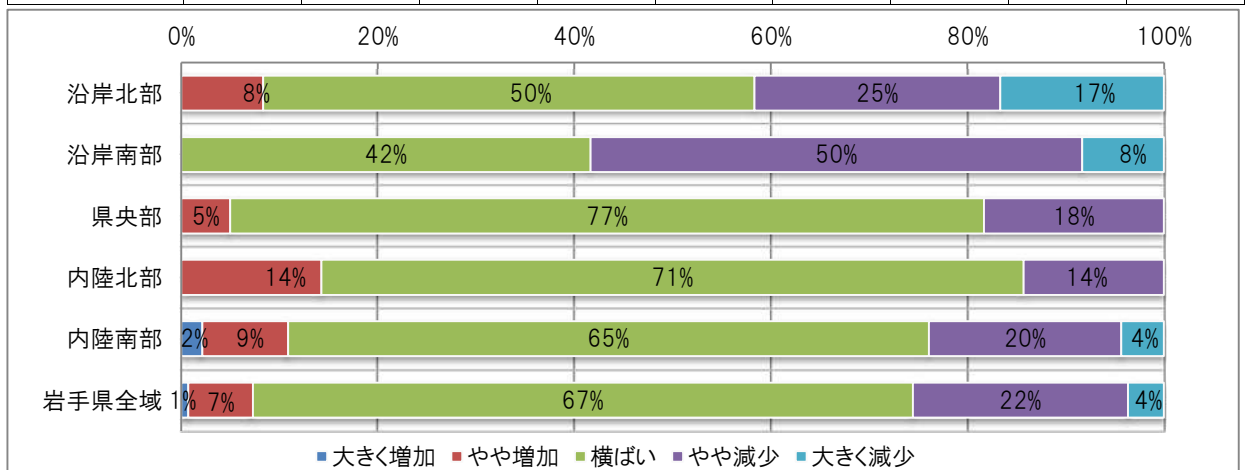
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-19.2	0	2	6	3	2	13	2	15
		0%	15%	46%	23%	15%	100%		
沿岸南部	-33.3	0	0	5	6	1	12	2	14
		0%	0%	42%	50%	8%	100%		
県央部	-9.3	0	5	47	18	0	70	30	100
		0%	7%	67%	26%	0%	100%		
内陸北部	-6.3	0	1	5	2	0	8	2	10
		0%	13%	63%	25%	0%	100%		
内陸南部	-13.3	0	2	35	9	3	49	12	61
		0%	4%	71%	18%	6%	100%		
岩手県全域	-13.2	0	10	98	38	6	152	48	200
		0%	7%	64%	25%	4%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ②

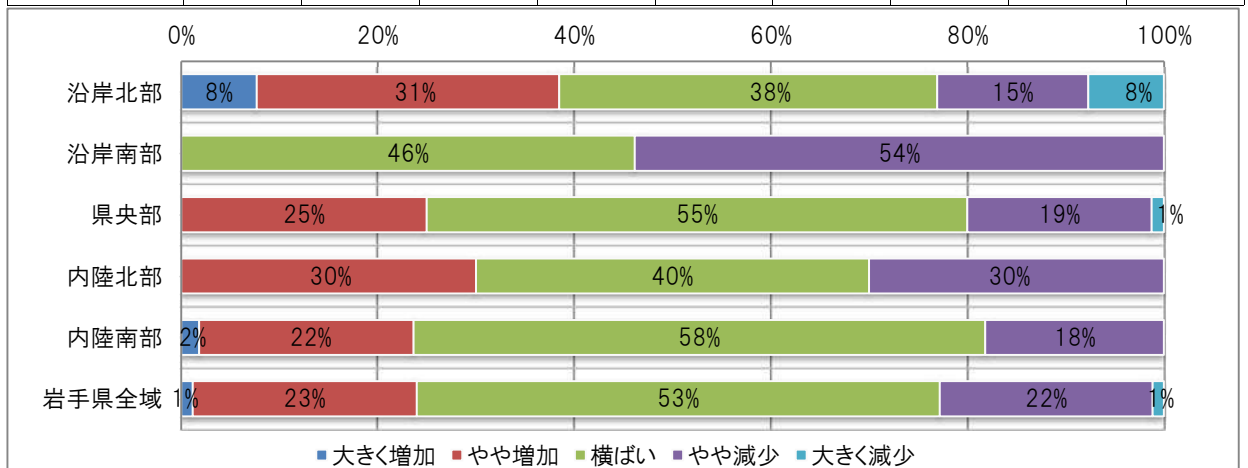
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	1	6	3	2	12	3	15
		0%	8%	50%	25%	17%	100%		
沿岸南部	-33.3	0	0	5	6	1	12	2	14
		0%	0%	42%	50%	8%	100%		
県央部	-6.7	0	3	46	11	0	60	40	100
		0%	5%	77%	18%	0%	100%		
内陸北部	0.0	0	1	5	1	0	7	3	10
		0%	14%	71%	14%	0%	100%		
内陸南部	-7.6	1	4	30	9	2	46	15	61
		2%	9%	65%	20%	4%	100%		
岩手県全域	-10.6	1	9	92	30	5	137	63	200
		1%	7%	67%	22%	4%	100%		



【中古住宅】

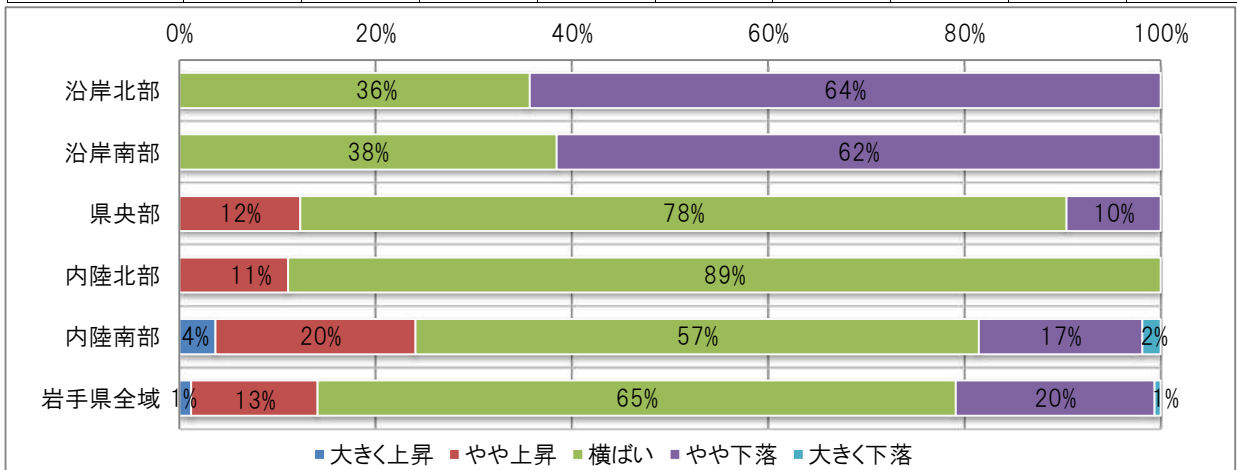
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	7.7	1	4	5	2	1	13	2	15
		8%	31%	38%	15%	8%	100%		
沿岸南部	-26.9	0	0	6	7	0	13	1	14
		0%	0%	46%	54%	0%	100%		
県央部	1.9	0	20	44	15	1	80	20	100
		0%	25%	55%	19%	1%	100%		
内陸北部	0.0	0	3	4	3	0	10	0	10
		0%	30%	40%	30%	0%	100%		
内陸南部	3.6	1	12	32	10	0	55	6	61
		2%	22%	58%	18%	0%	100%		
岩手県全域	0.6	2	39	91	37	2	171	29	200
		1%	23%	53%	22%	1%	100%		



問7: 賃料の6ヶ月前(R5.10.1時点)との比較

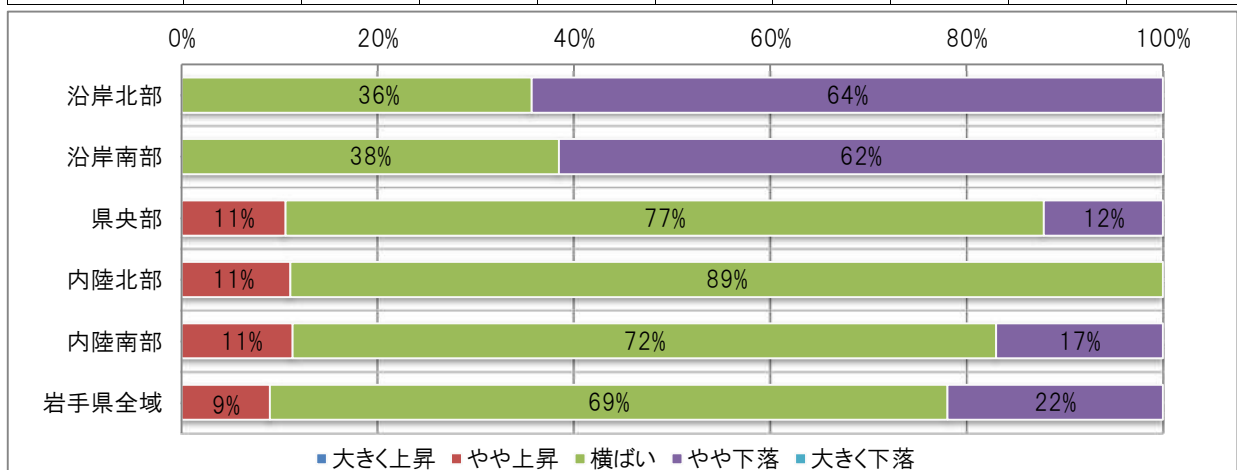
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-32.1	0	0	5	9	0	14	1	15
		0%	0%	36%	64%	0%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	0	5	8	0	13	1	14
		0%	0%	38%	62%	0%	100%		
県央部	1.4	0	9	57	7	0	73	27	100
		0%	12%	78%	10%	0%	100%		
内陸北部	5.6	0	1	8	0	0	9	1	10
		0%	11%	89%	0%	0%	100%		
内陸南部	3.7	2	11	31	9	1	54	7	61
		4%	20%	57%	17%	2%	100%		
岩手県全域	-3.1	2	21	106	33	1	163	37	200
		1%	13%	65%	20%	1%	100%		



【その他不動産】

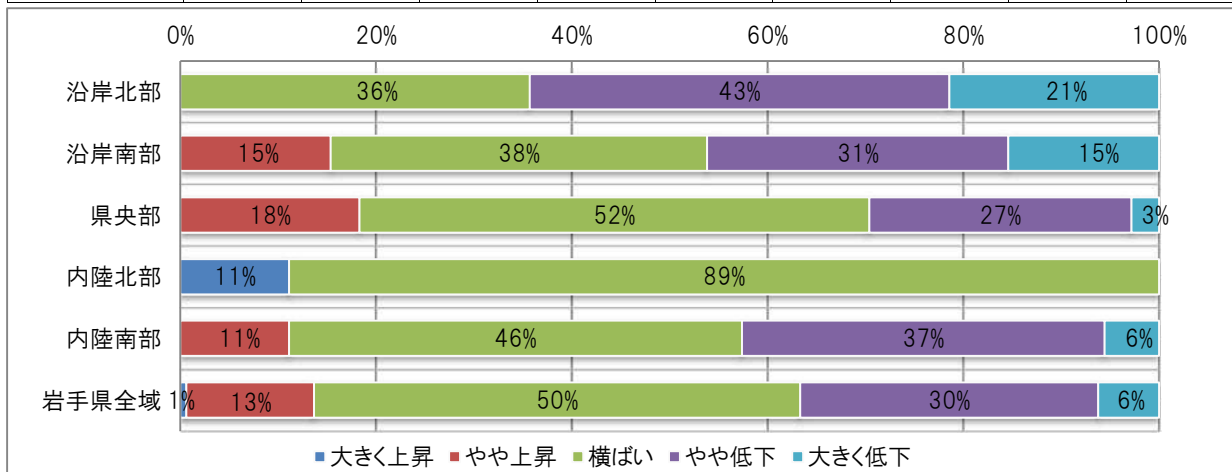
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-32.1	0	0	5	9	0	14	1	15
		0%	0%	36%	64%	0%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	0	5	8	0	13	1	14
		0%	0%	38%	62%	0%	100%		
県央部	-0.8	0	7	51	8	0	66	34	100
		0%	11%	77%	12%	0%	100%		
内陸北部	5.6	0	1	8	0	0	9	1	10
		0%	11%	89%	0%	0%	100%		
内陸南部	-2.8	0	6	38	9	0	53	8	61
		0%	11%	72%	17%	0%	100%		
岩手県全域	-6.5	0	14	107	34	0	155	45	200
		0%	9%	69%	22%	0%	100%		



問8:入居率の6ヶ月前(R5.10.1時点)との比較

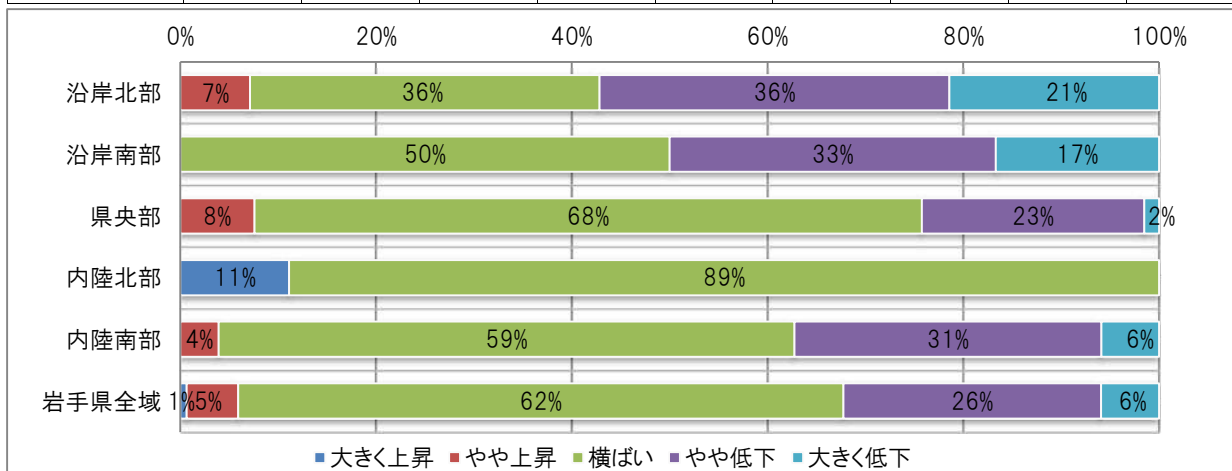
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-42.9	0	0	5	6	3	14	1	15
		0%	0%	36%	43%	21%	100%		
沿岸南部	-23.1	0	2	5	4	2	13	1	14
		0%	15%	38%	31%	15%	100%		
県央部	-7.0	0	13	37	19	2	71	29	100
		0%	18%	52%	27%	3%	100%		
内陸北部	11.1	1	0	8	0	0	9	1	10
		11%	0%	89%	0%	0%	100%		
内陸南部	-18.5	0	6	25	20	3	54	7	61
		0%	11%	46%	37%	6%	100%		
岩手県全域	-14.3	1	21	80	49	10	161	39	200
		1%	13%	50%	30%	6%	100%		



【その他不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	1	5	5	3	14	1	15
		0%	7%	36%	36%	21%	100%		
沿岸南部	-33.3	0	0	6	4	2	12	2	14
		0%	0%	50%	33%	17%	100%		
県央部	-9.1	0	5	45	15	1	66	34	100
		0%	8%	68%	23%	2%	100%		
内陸北部	11.1	1	0	8	0	0	9	1	10
		11%	0%	89%	0%	0%	100%		
内陸南部	-19.6	0	2	30	16	3	51	10	61
		0%	4%	59%	31%	6%	100%		
岩手県全域	-15.8	1	8	94	40	9	152	48	200
		1%	5%	62%	26%	6%	100%		



お問い合わせ窓口

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

調査研究委員長 新沼 輝雄（不動産鑑定士）
（所属） 新沼不動産鑑定事務所
〒020-0873 盛岡市松尾町1-7
電話019-613-9292 FAX019-613-9293

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
代表者名：会長 多田 幸司
発足：昭和42年7月
会員数：594会員（準会員を含む）
所在地：盛岡市前九年1-9-30
電話番号：019-646-1111

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部の概要

団体名：公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
代表者名：本部長 浅沼 儀洋
発足：昭和36年11月
会員数：132会員
所在地：盛岡市八幡町1番9-101
電話番号：019-625-5900

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
代表者名：会長 佐藤 真
発足：平成21年4月
会員数：不動産鑑定士23名、不動産鑑定業者20社
所在地：盛岡市大通1-3-4 宏陽ビル6階
電話番号：019-604-3070

※ 無断複製転載を禁じます。